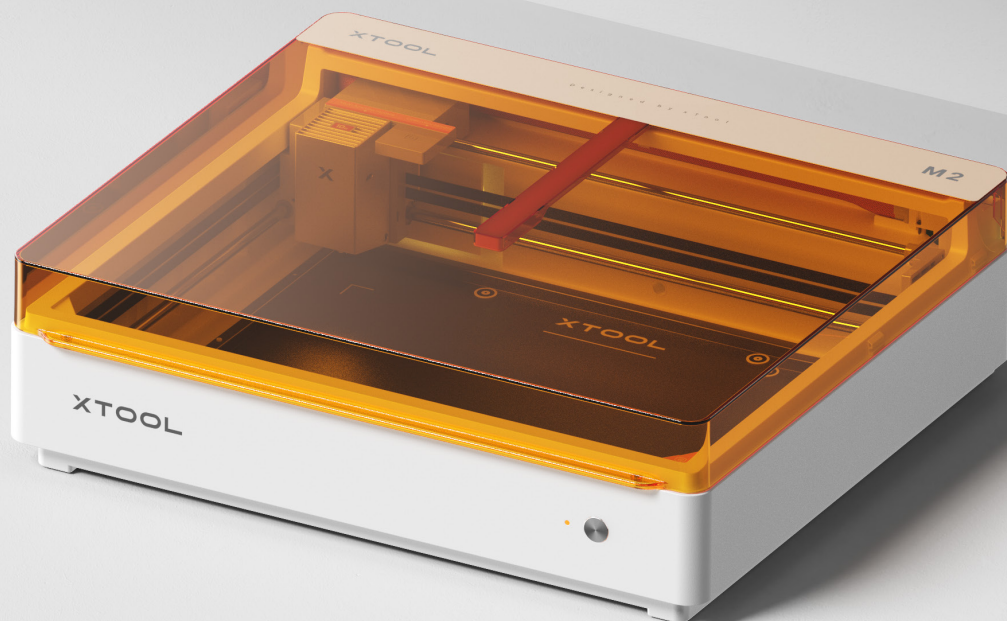


XTOOL | M2

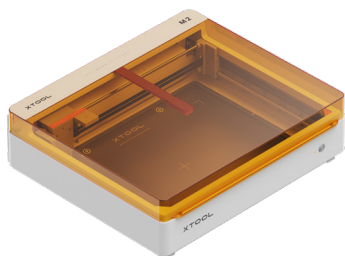
クイックガイド



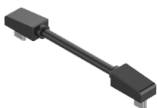
内容物一覧	01
xTool M2の紹介	03
準備	04
xTool M2 使用	14
材料を固定する	15
インジケータースタート／ストップボタンの理解	20
メンテナンス	22
xTool M2 で xTool M2 CMYK インクジェットモジュールを使用する	30
xTool M2 に xTool ロータリーアタッチメント 3 Lite を装着して使用してください	30

内容物一覧

xTool M2



xTool M2



モジュール接続ケーブル



電源アダプタとケーブル



USBケーブルとアダプター



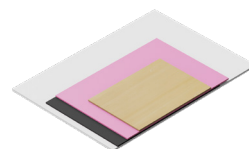
排煙管



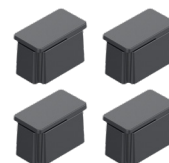
クランプ



グリース



素材パック



磁気固定具



六角ドライバー



マスキングテープ



ネジ M3*6



指示カード



安全上のご注意

レーザーヘッド



xTool M2 CMYK インクジェットモジュール



xTool M2 CMYK インク
ジェットモジュール



インク カートリッジ



底面カバー



保湿液



底面カバー固定プレ
ート



ネジ



校正カード (A5)

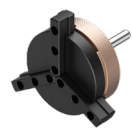


フェライトコア



取扱説明書

xTool回転装置 (第3世代Lite)



爪チャック



円柱状の爪



T字型の爪



延長の爪

爪チャック部品



電源モジュール



メイン底面プレート



サポートモジュール



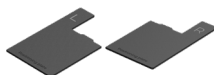
スタッド部品



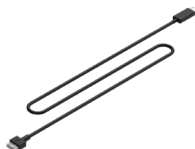
レーザーシールド



水平レーザーヘッドホルダー



位置決めプレート



デバイス接続ケーブル



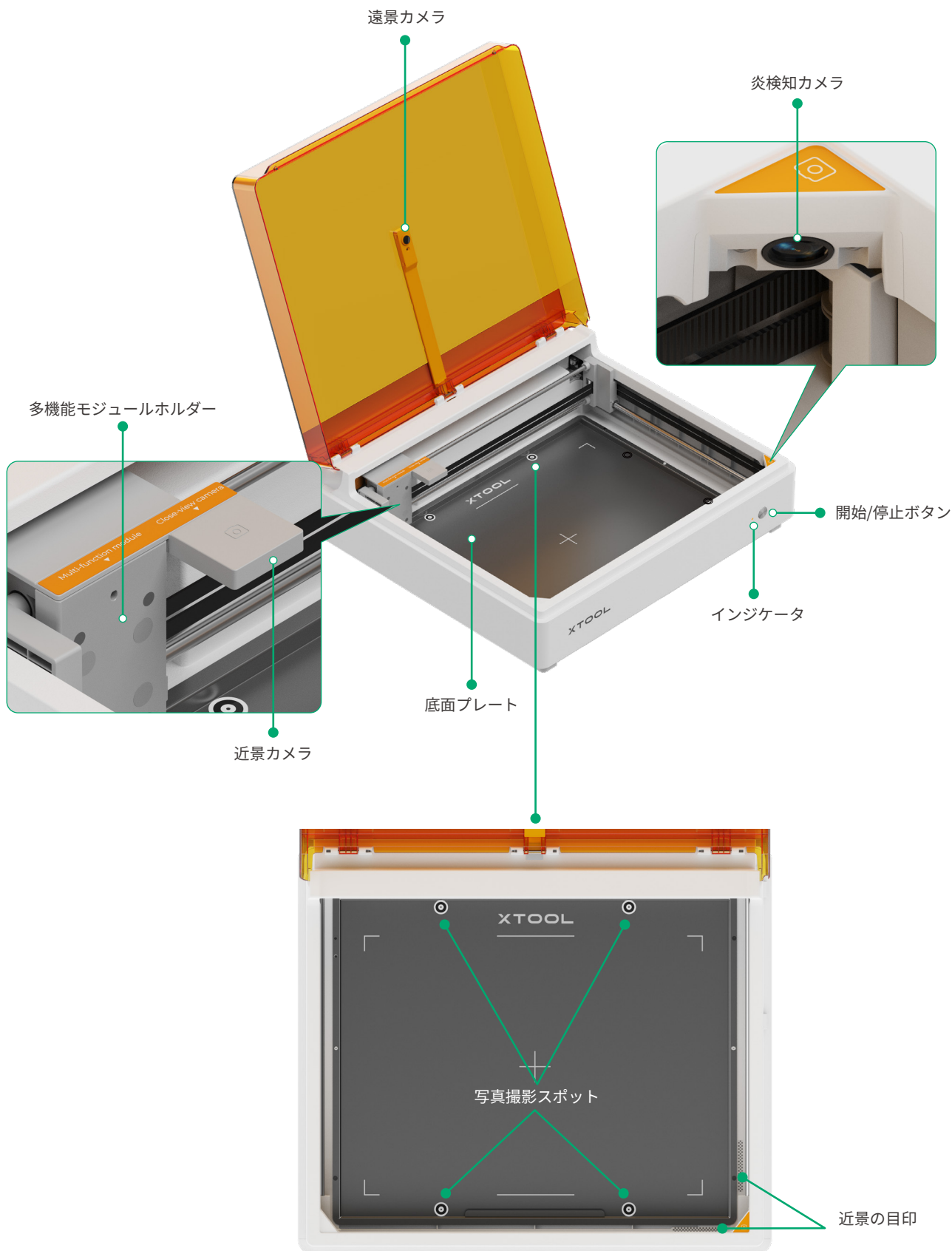
巻き尺

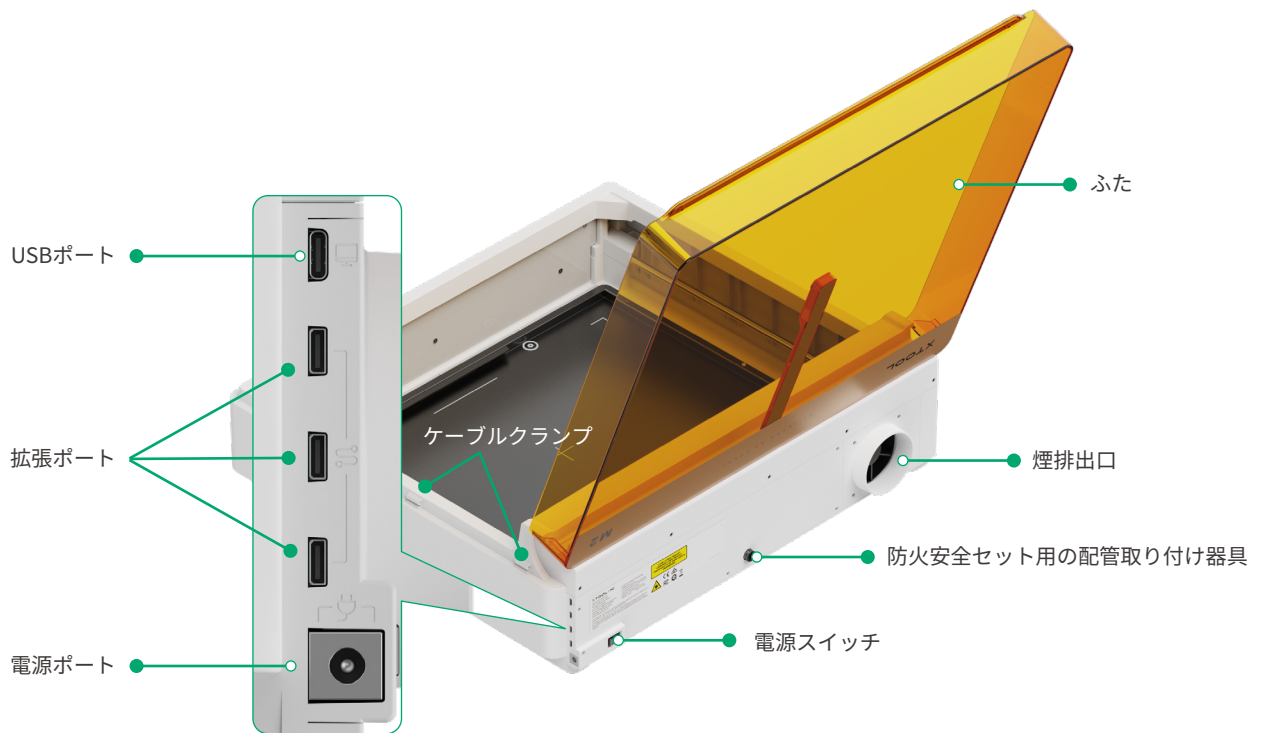
	xTool M2	レーザーヘッド	xTool M2 CMYK インク ジェットモジュール	xTool回転装置 (第3世代Lite)
基本セット	✓	✓		
カラフルなセット	✓	✓	✓	
デラックス・バンドル	✓	✓	✓	✓



キットによって、アダプター、電源ケーブル、USBケーブル、および付属品セットの内容が異なる場合があります。図はあくまで参考です。

xTool M2の紹介



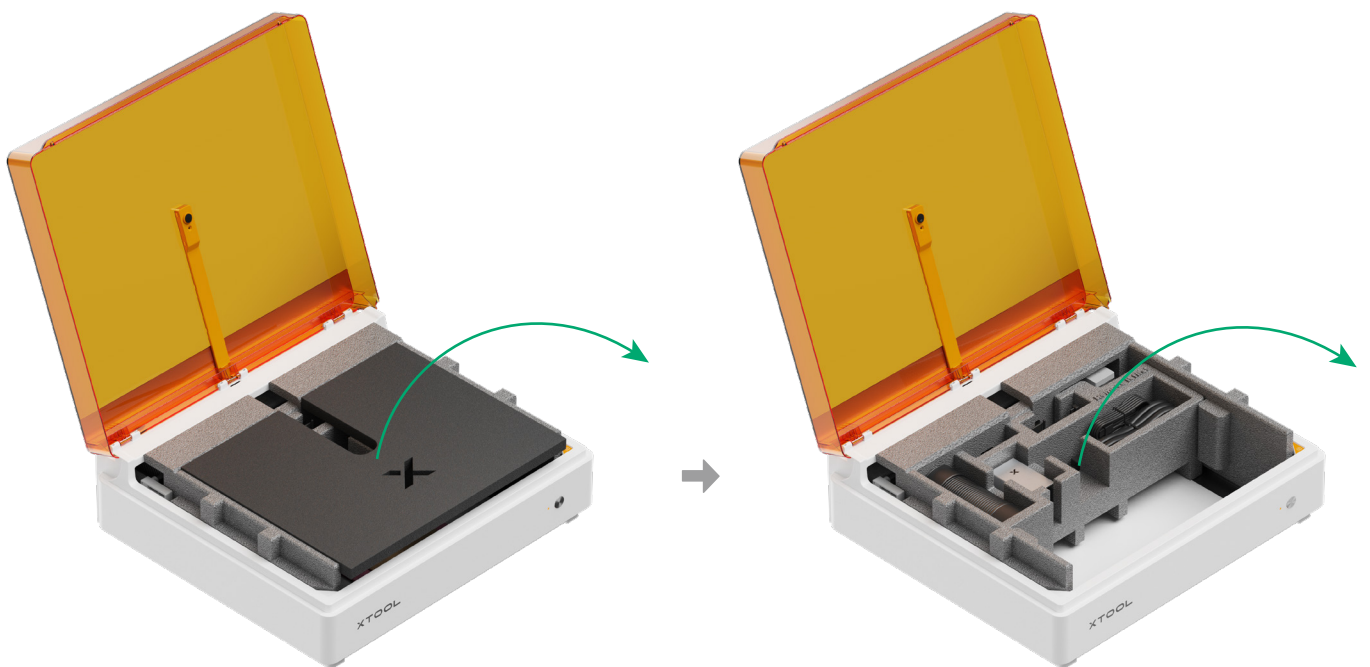


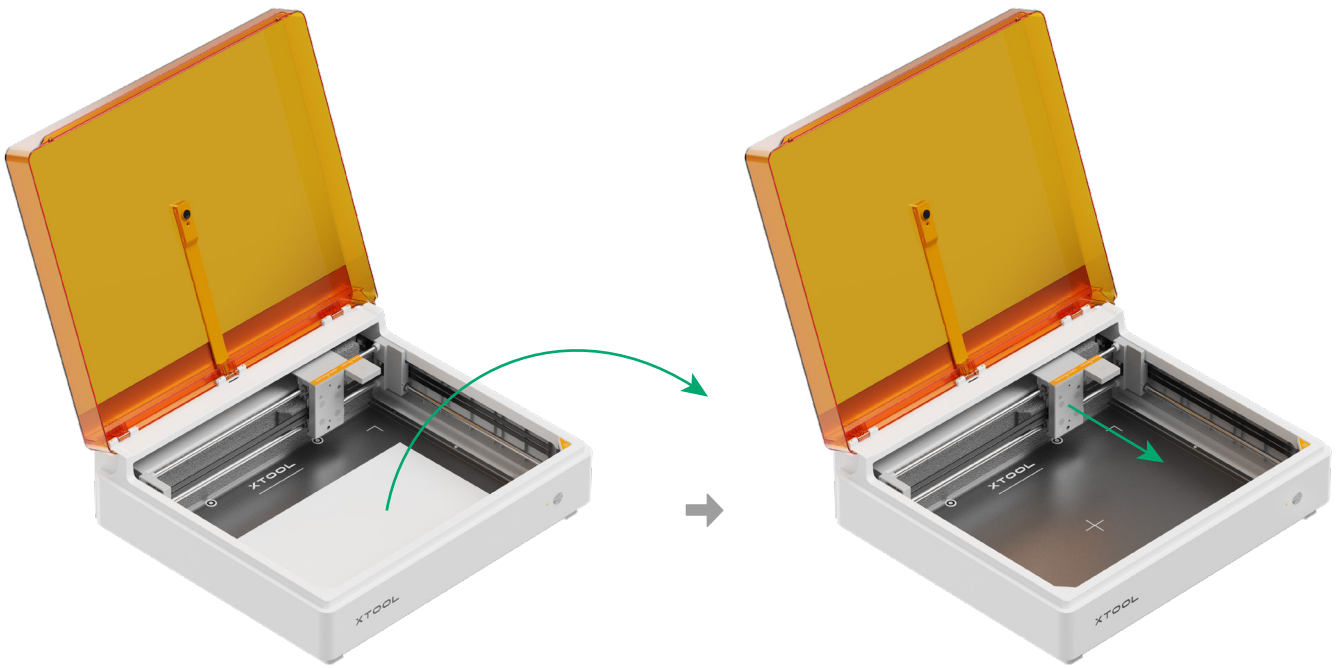
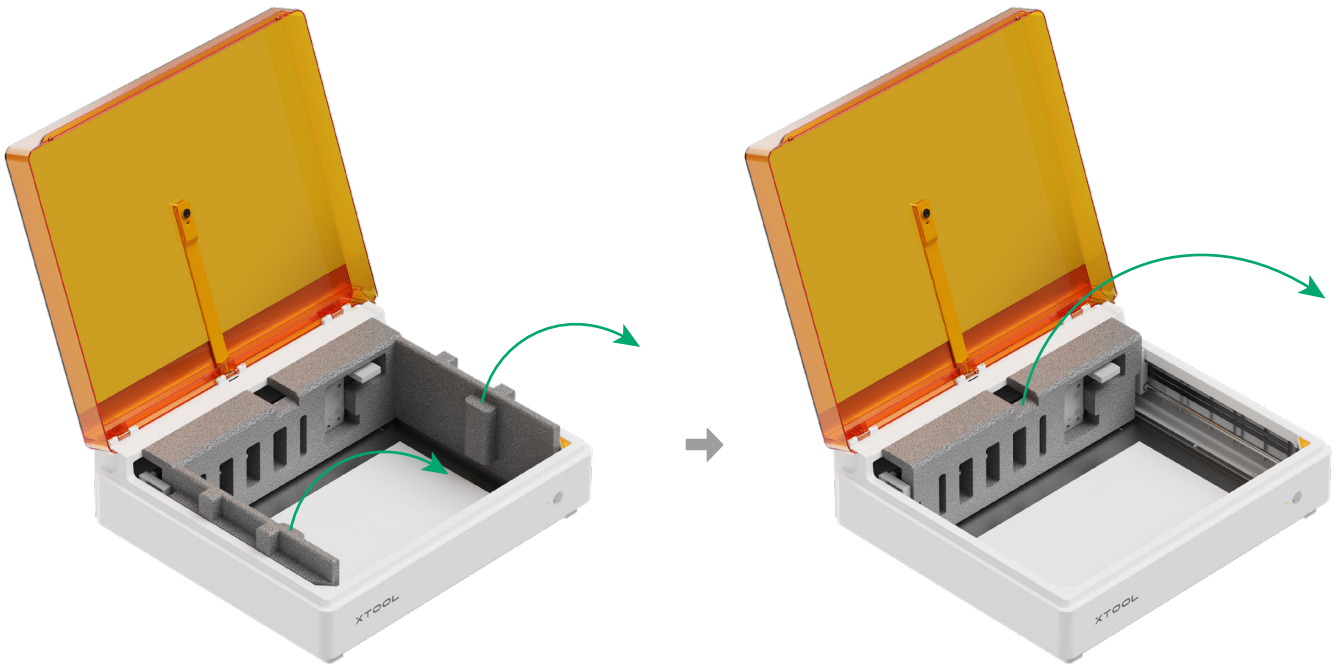
準備

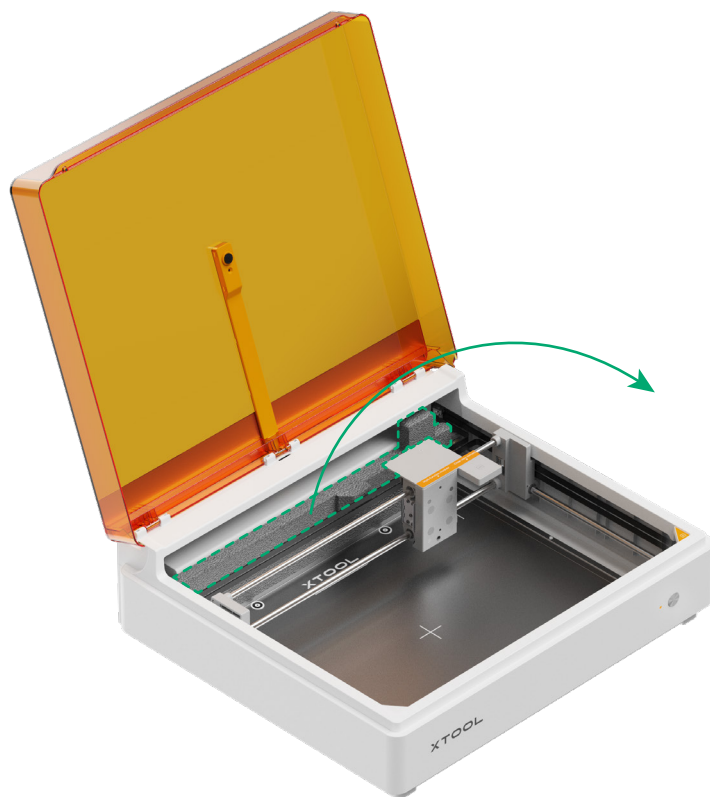


本製品は、安定した平らな場所に設置することをお勧めします。

1 蓋を開け、装置内のフォームや部品を取り出してください

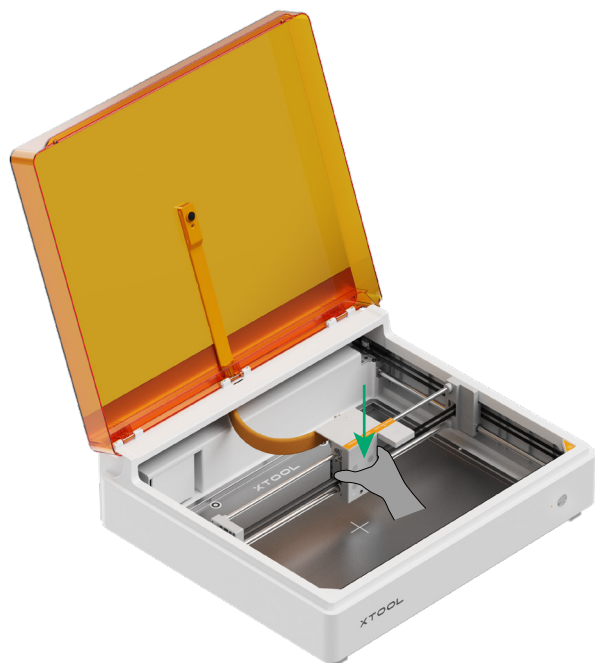


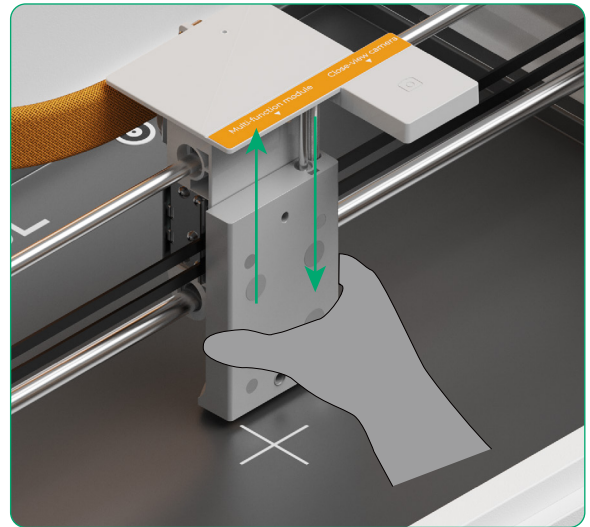
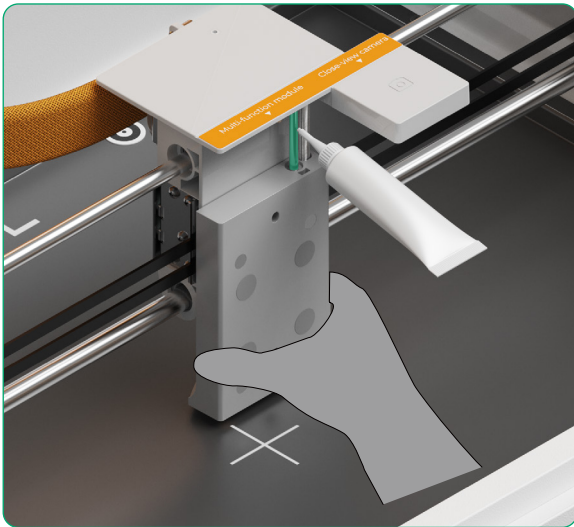




2 レーザーモジュールの前面および後部のリニアシャフトにグリースを塗布してください

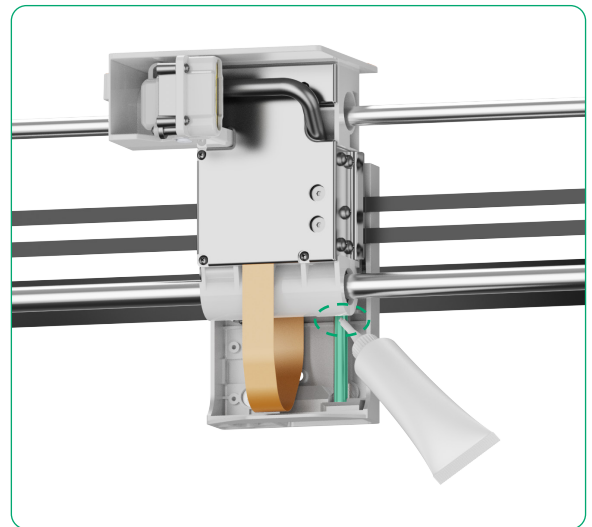
(1) 片手でモジュールホルダープレートを引き下げ、前面のリニアシャフトにグリースをしっかりと塗布してください。




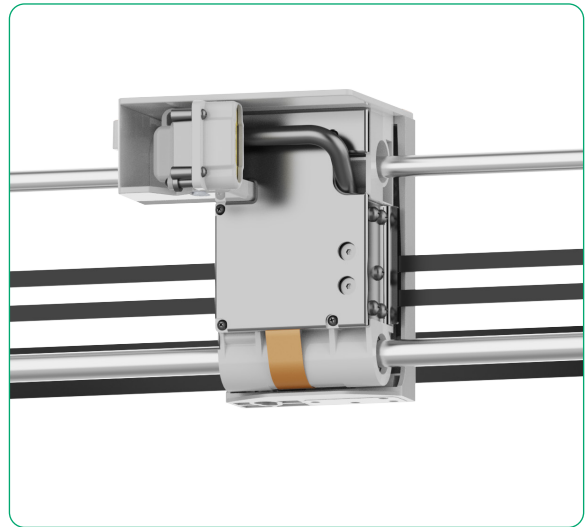
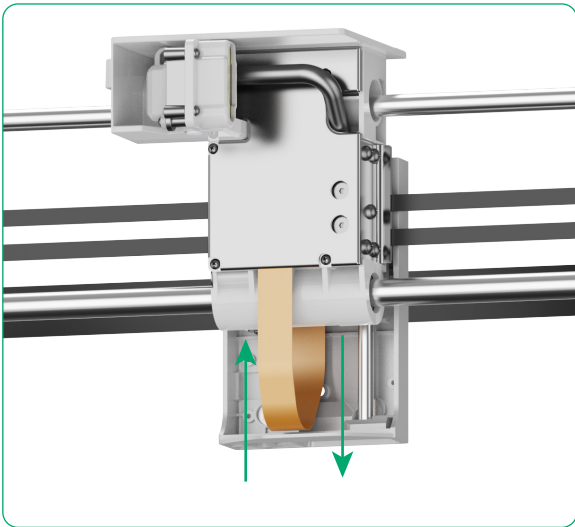


フロントリニアシャフトにグリースをしっかりと塗布する際は、モジュールホルダープレートを一番下まで引き下げ、手を離してください。この動作を3回繰り返してください。

(2) 同様に、後部のリニアシャフトにもグリースをしっかりと塗布してください。



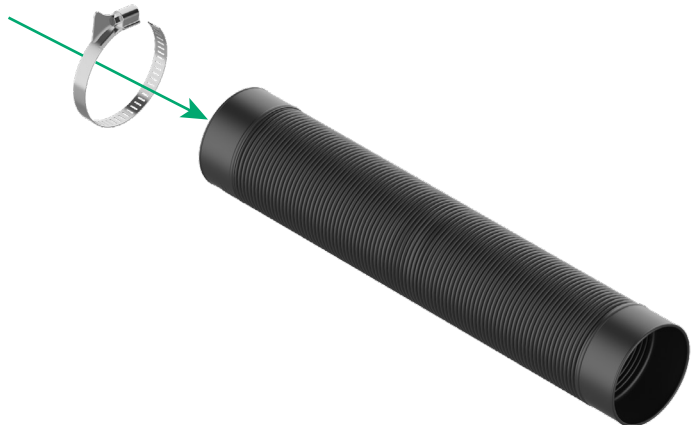
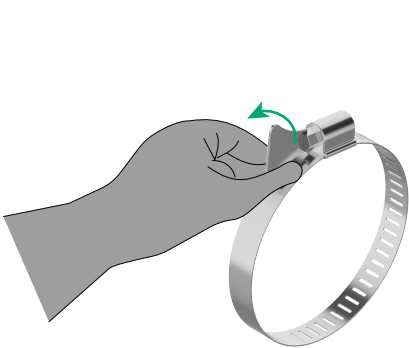
 後部のリニアシャフトの上部は、グリースで完全に被覆されている必要があります。



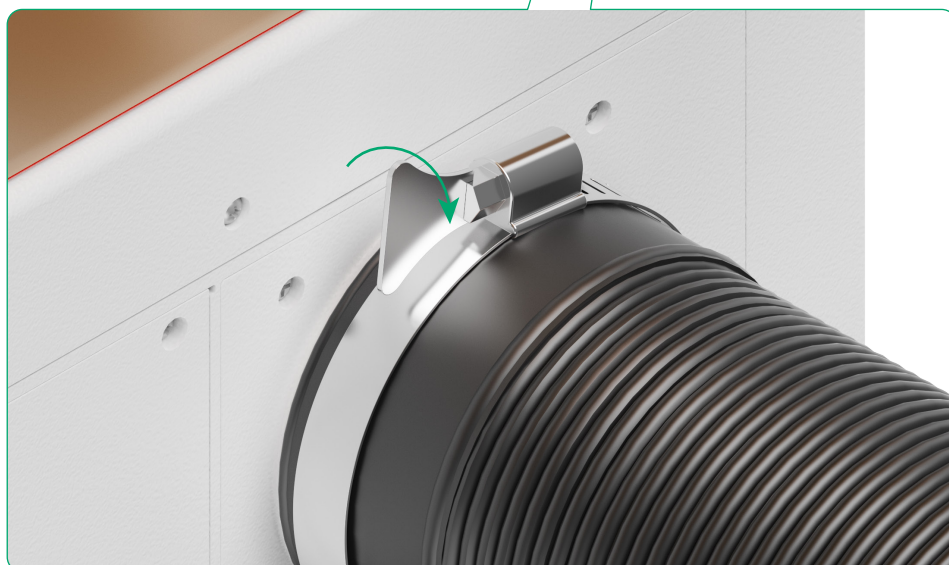
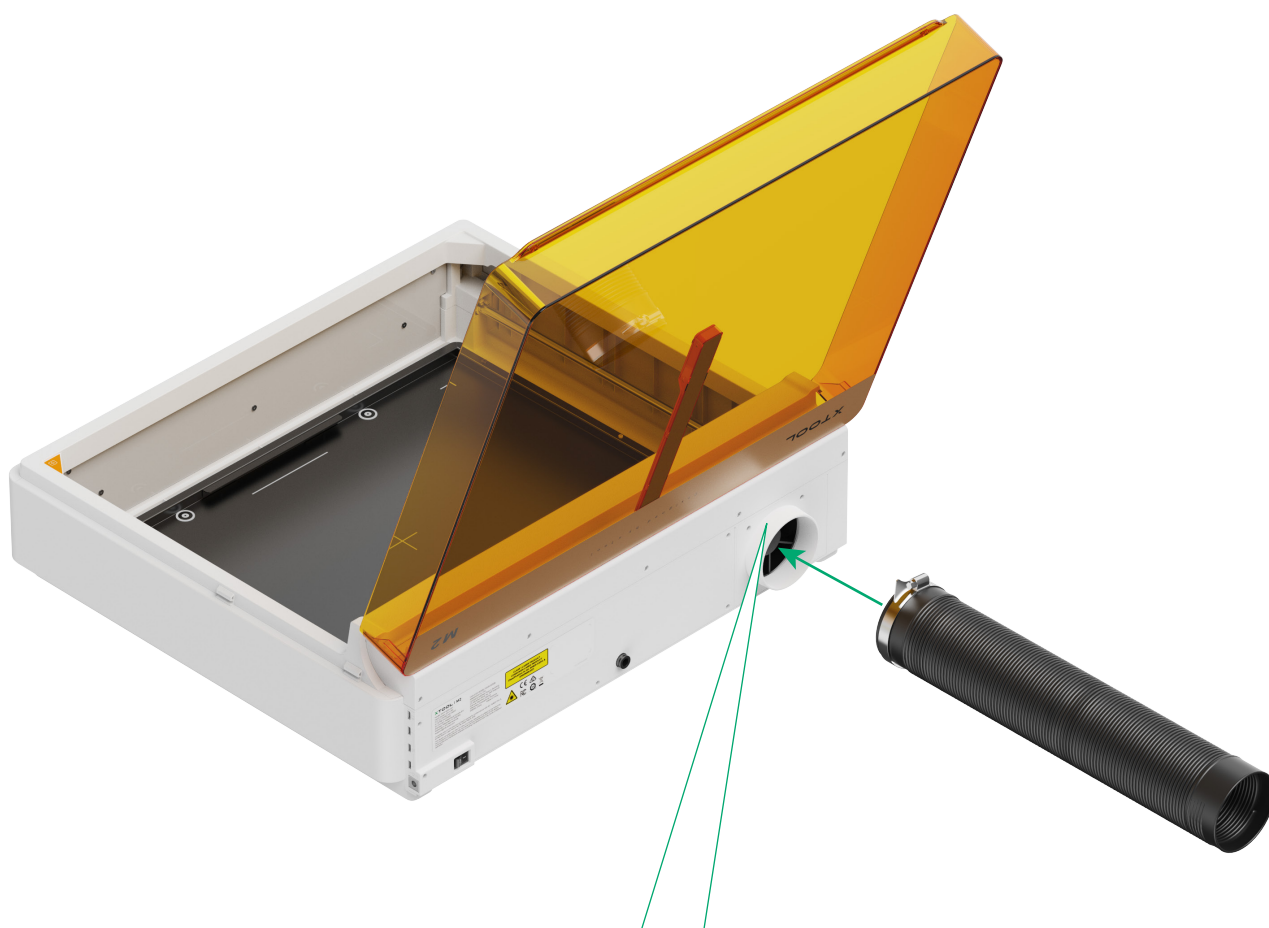
リアリニアシャフトにグリースをしっかりと塗布する際は、モジュールホルダープレートが一番下まで引き下げ、手を離してください。この動作を3回繰り返してください。

3 排煙管を取り付ける

(1) クランプの留め具を緩め、排煙管に取り付けます。



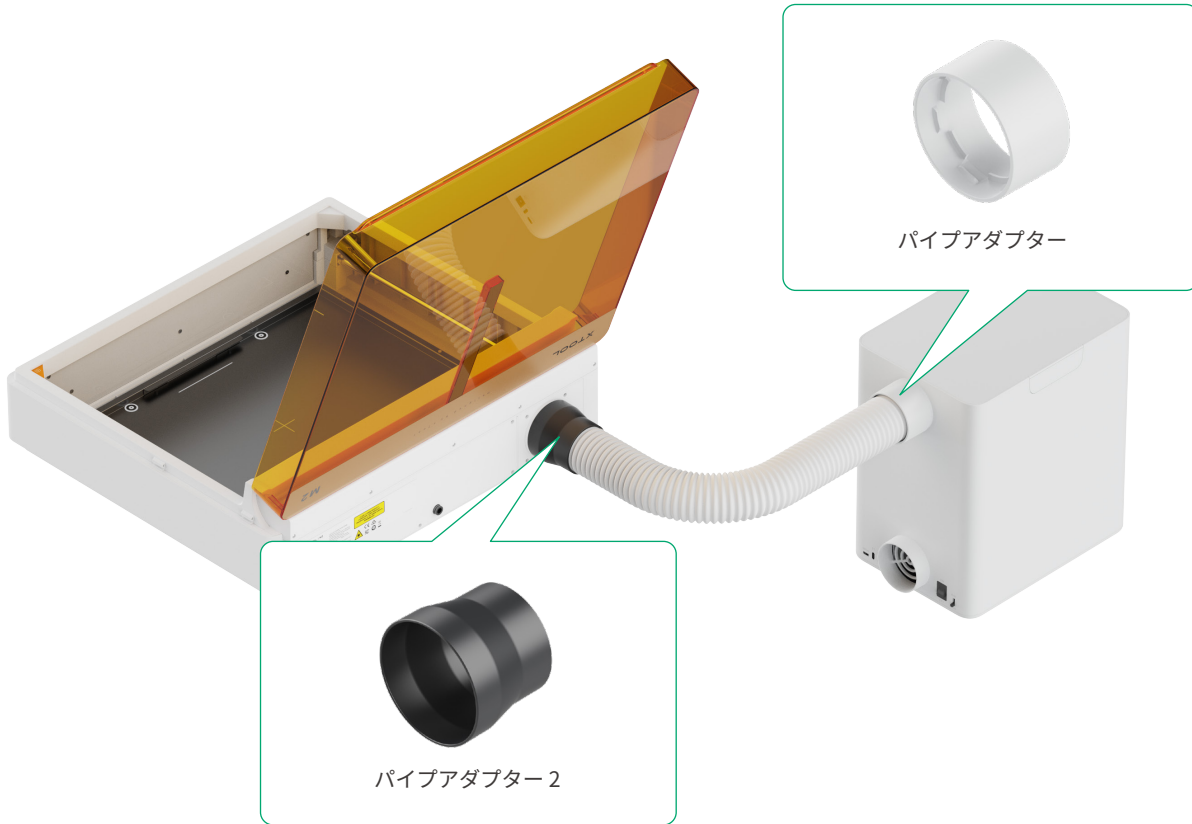
(2) 排煙管を取り付け、クランプの留め具を締めます。



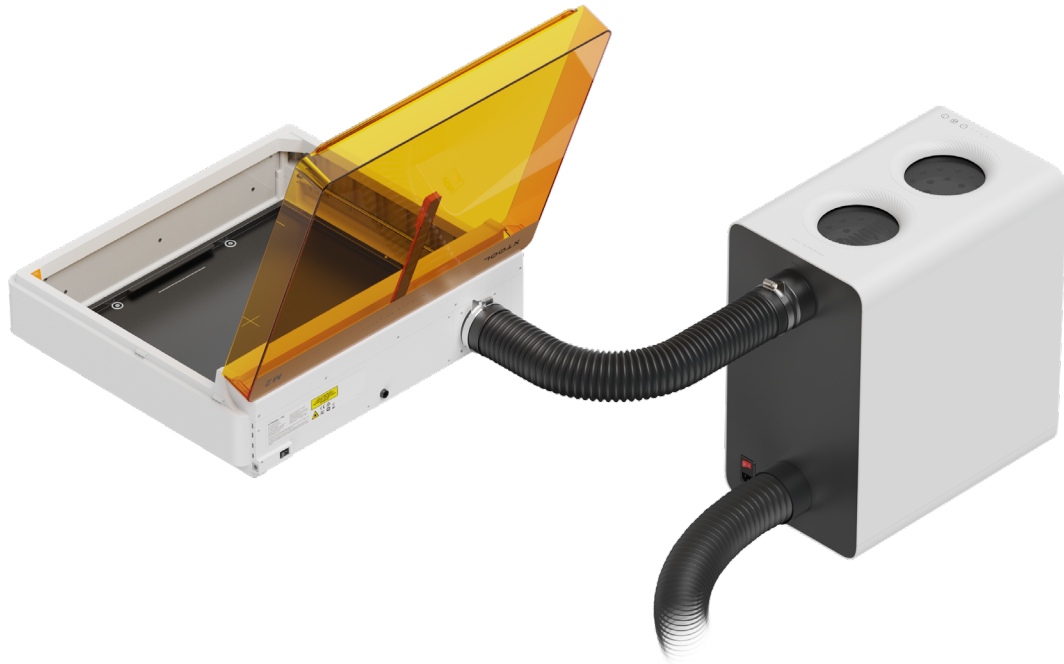


本機器の稼働中に、有害な煙や粉塵、ガスが発生する場合があります。排煙管を取り付けて空気清浄機に接続するか、排煙口を窓の外に設置することをお勧めします。

空気清浄機を通して煙を排出する



デスクトップ型空気清浄機をご購入された場合は、support.xtool.com/replacement-parts?from=support_home にアクセスし、パイプアダプターを取り付けてください。



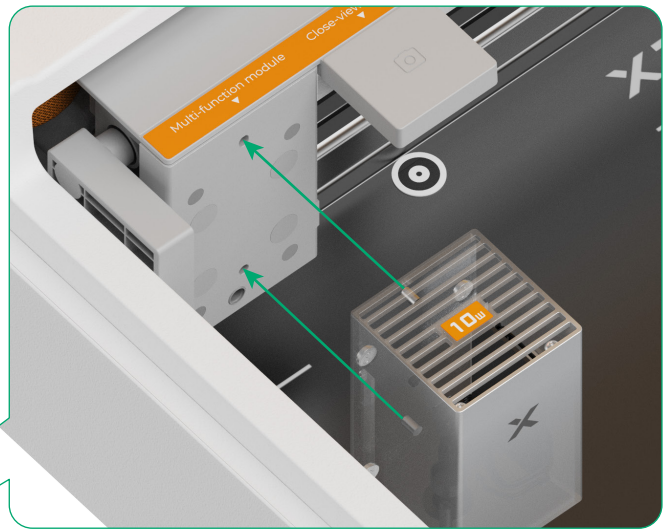
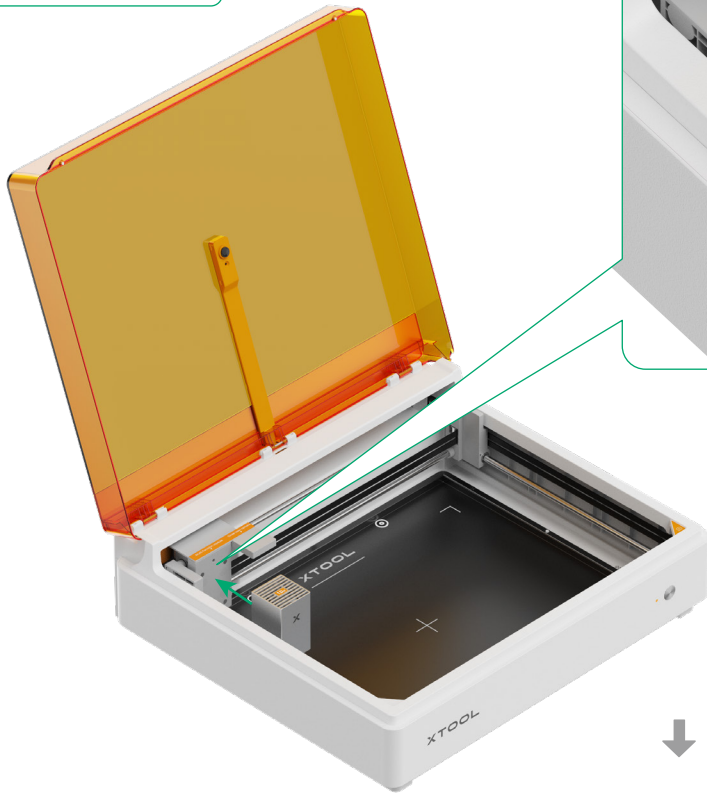
xTool SafetyPro™ AP2の詳細については、support.xtool.com/product/53 をご覧ください。

窓から煙を排出する

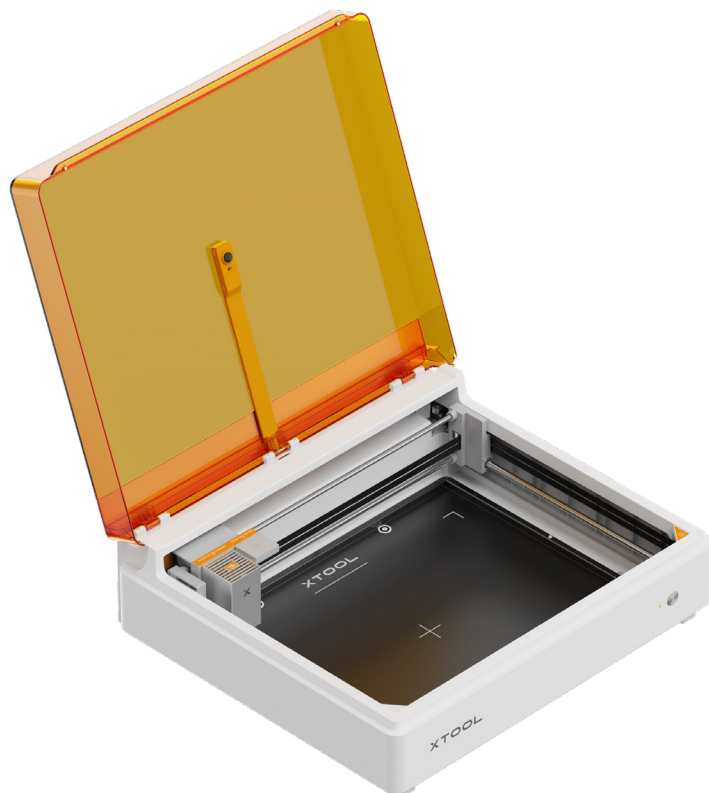


4 レーザーモジュールを取り付ける

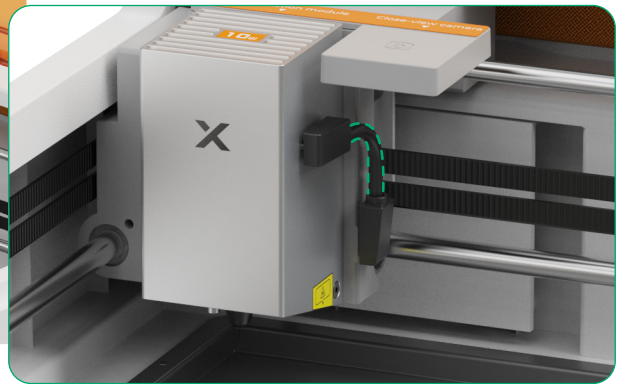
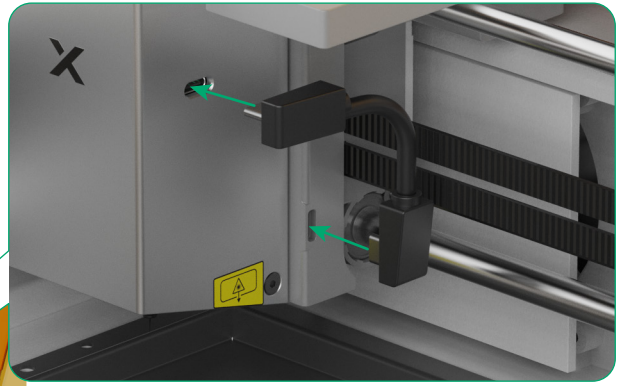
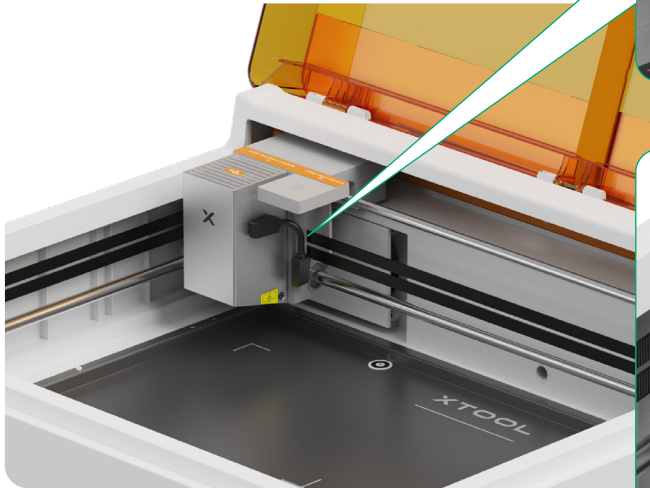
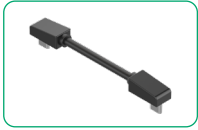
(1)



レーザーモジュールを取り付ける際は、モジュール背面の2つの位置決めピンと多機能モジュールホルダーの位置を合わせてください。

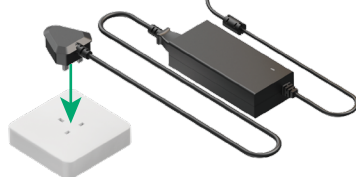
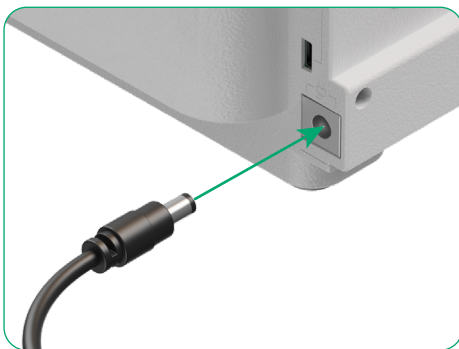
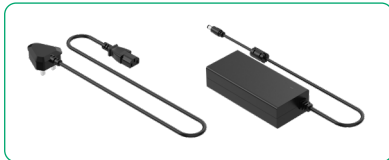


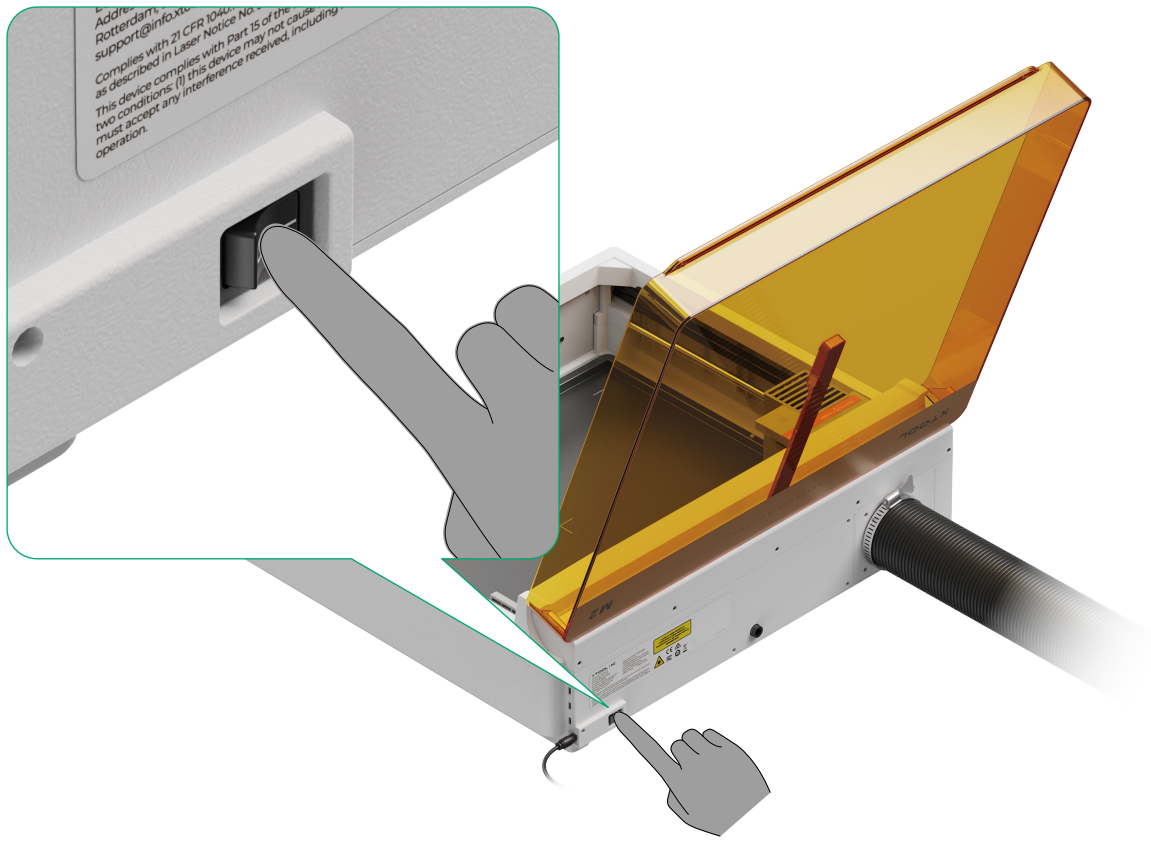
(2)



ケーブルがレーザーモジュールの近くに配置されていることを確認してください。

5 電源に接続し、電源スイッチを入れてください





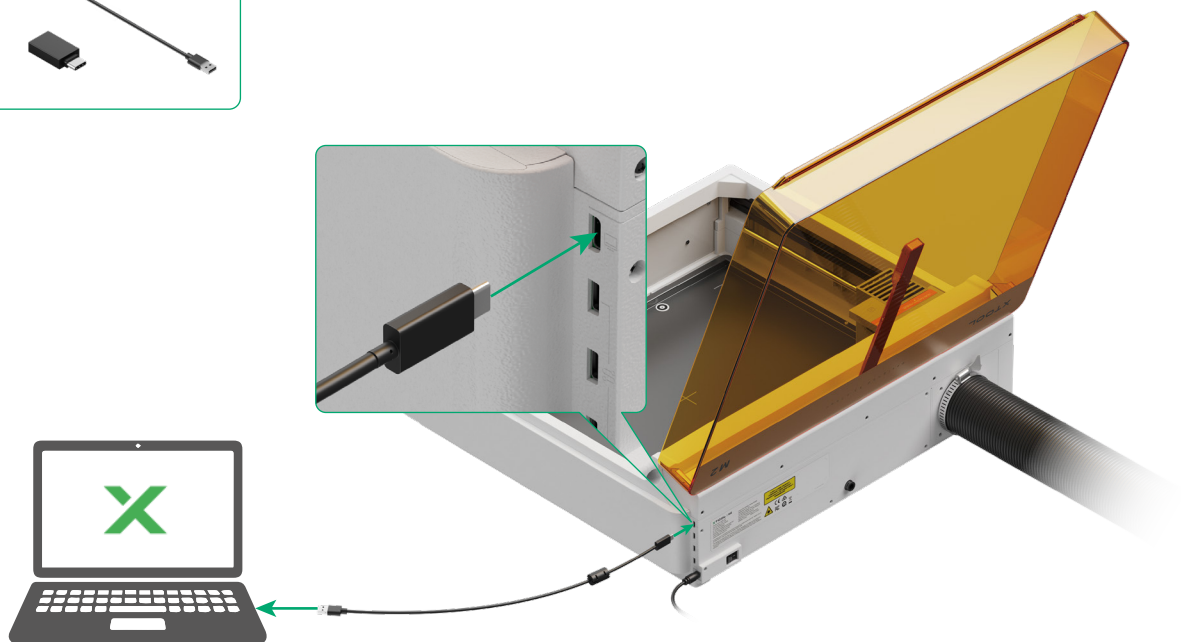
xTool M2 使用

1 xToolソフトウェアを入手する



[s.xtool.com/software](https://www.xtool.com/software)にアクセスし、xToolソフトウェアを入手します。

2 xTool M2をコンピューターに接続する



xTool M2とソフトウェアの併用に関する詳細については、support.xtool.com/article/2807 をご覧ください。
ソフトウェアやプロジェクトの詳細については、support.xtool.com/academy をご覧ください。

材料を固定する

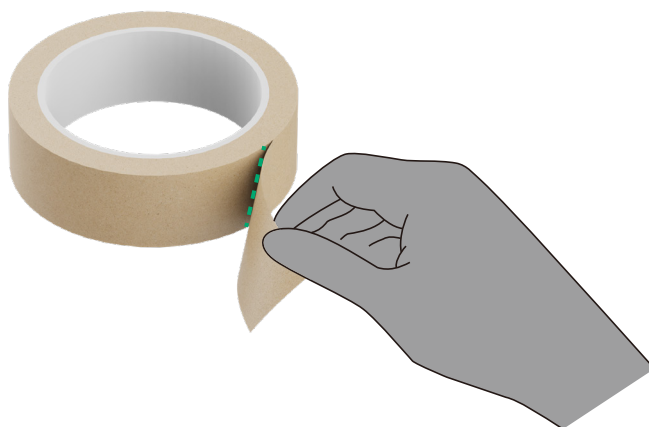


素材を固定する前に、ベースプレートを清掃し、表面が滑らかで平らであることを確認してください。これにより、ベースプレート上のゴミや汚れによる素材の膨らみや変色を防ぐことができます。

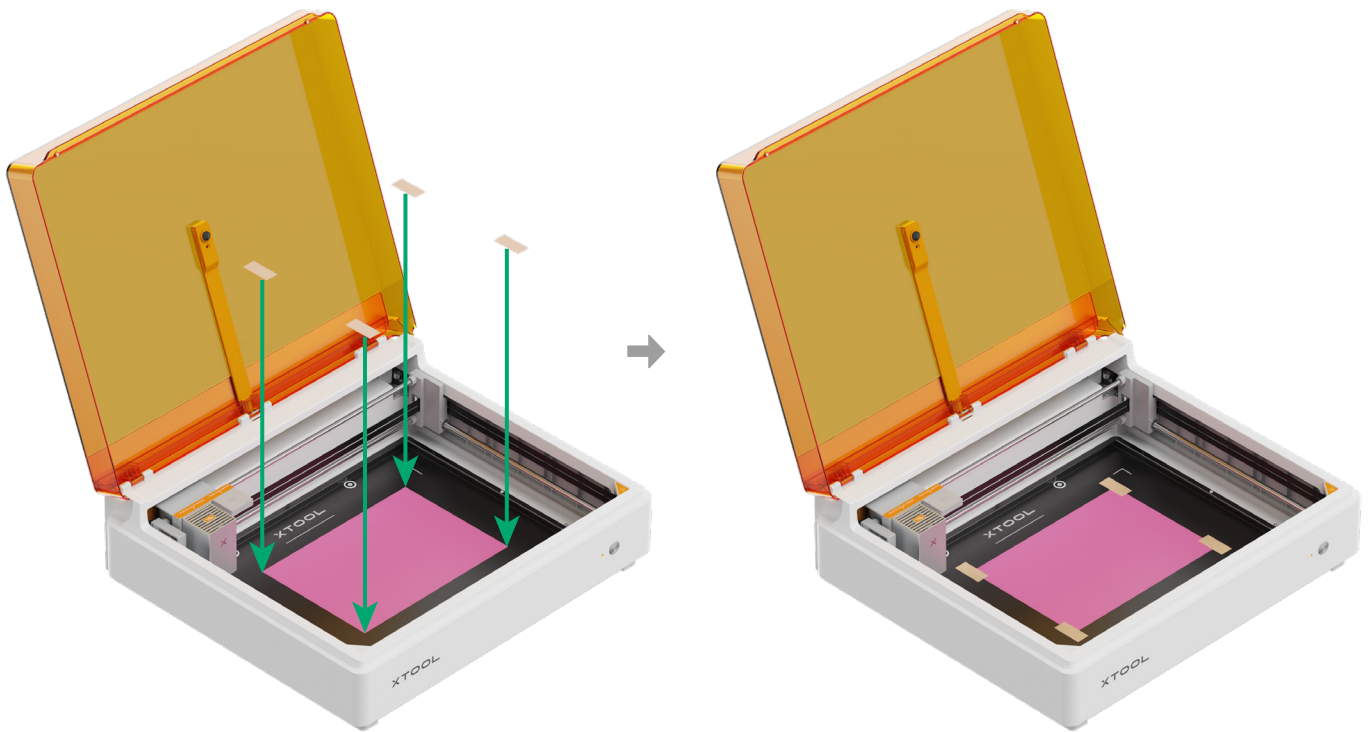
インクジェット印刷またはレーザー彫刻 ($0 < H \leq 1.5 \text{ mm}$ の素材) : マスキングテープで固定してください



1



2 マスキングテープを使って、材料をベースプレートに固定してください



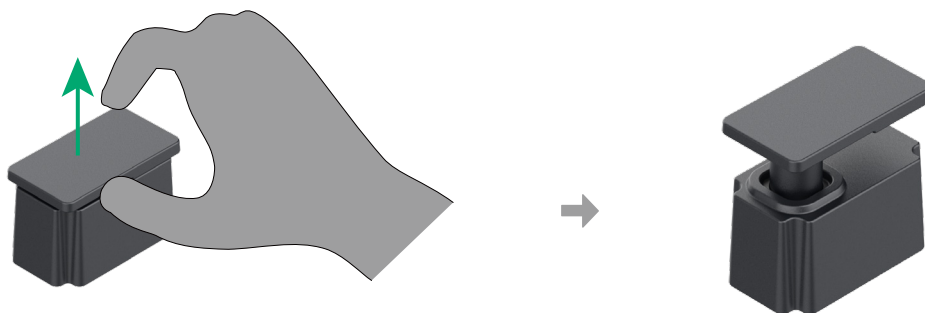
インクジェット印刷を行う際は、素材の厚さにかかわらず、インクジェットモジュールが素材に接触しないよう、テープで素材を固定することをお勧めします。

厚さ0～6 mmの材料のレーザー切断:磁気固定具で固定する

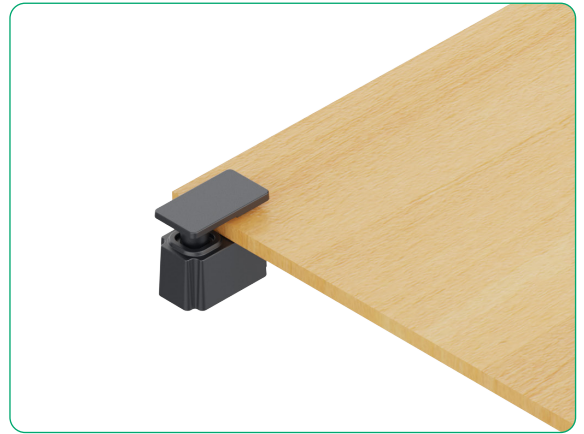
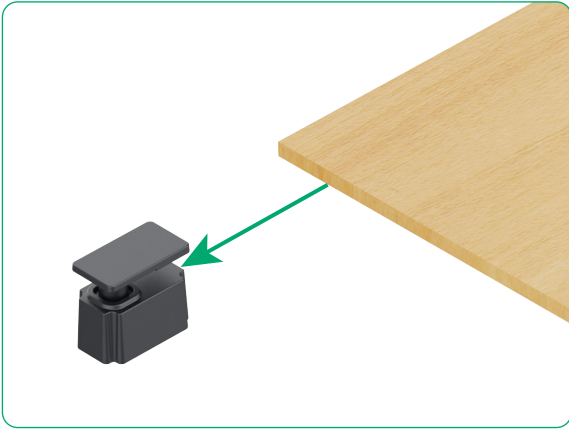


- より良い切断結果を得るために、4つの磁気固定具で素材を持ち上げてください。これにより、素材の下に十分な排煙スペースが確保されます。
- 紙や薄い布などの柔軟な素材を切断する場合は、マスキングテープや特注の治具を使って、それらをベースプレートに固定してください。

1



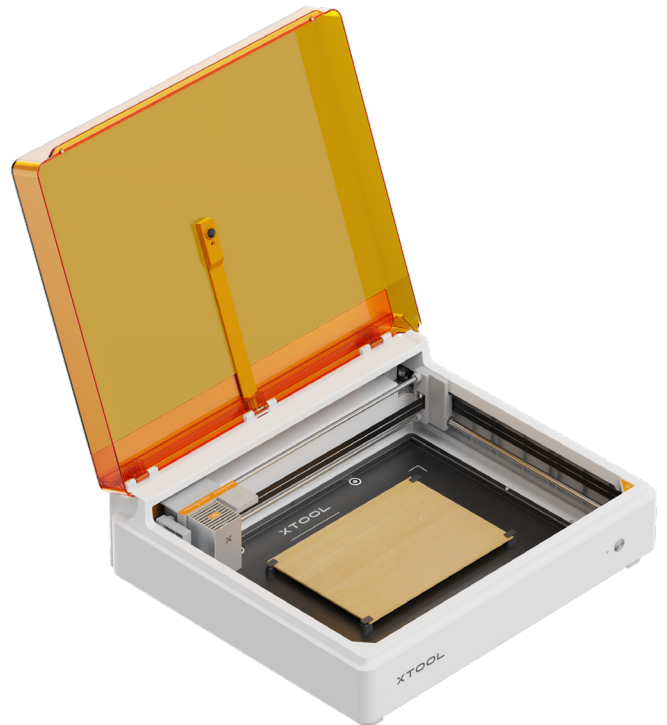
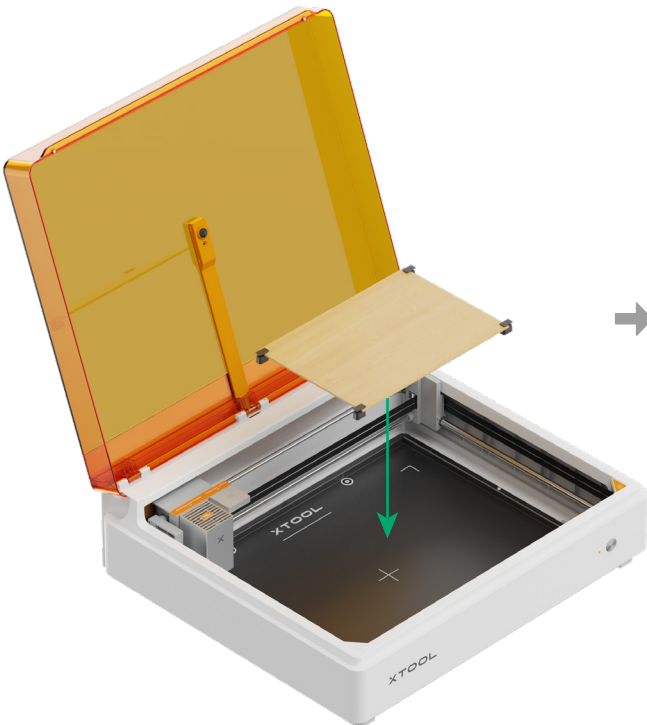
2



残りの3つのマグネット式固定具も、同じ要領で取り付けてください。

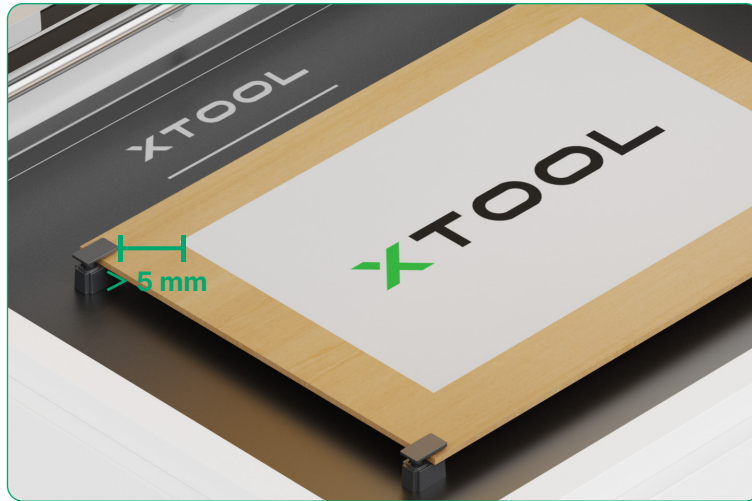


3





レーザー光線が磁気固定具を損傷しないように、加工対象物の端部が磁気固定具から少なくとも5 mm 離れていることを確認してください。

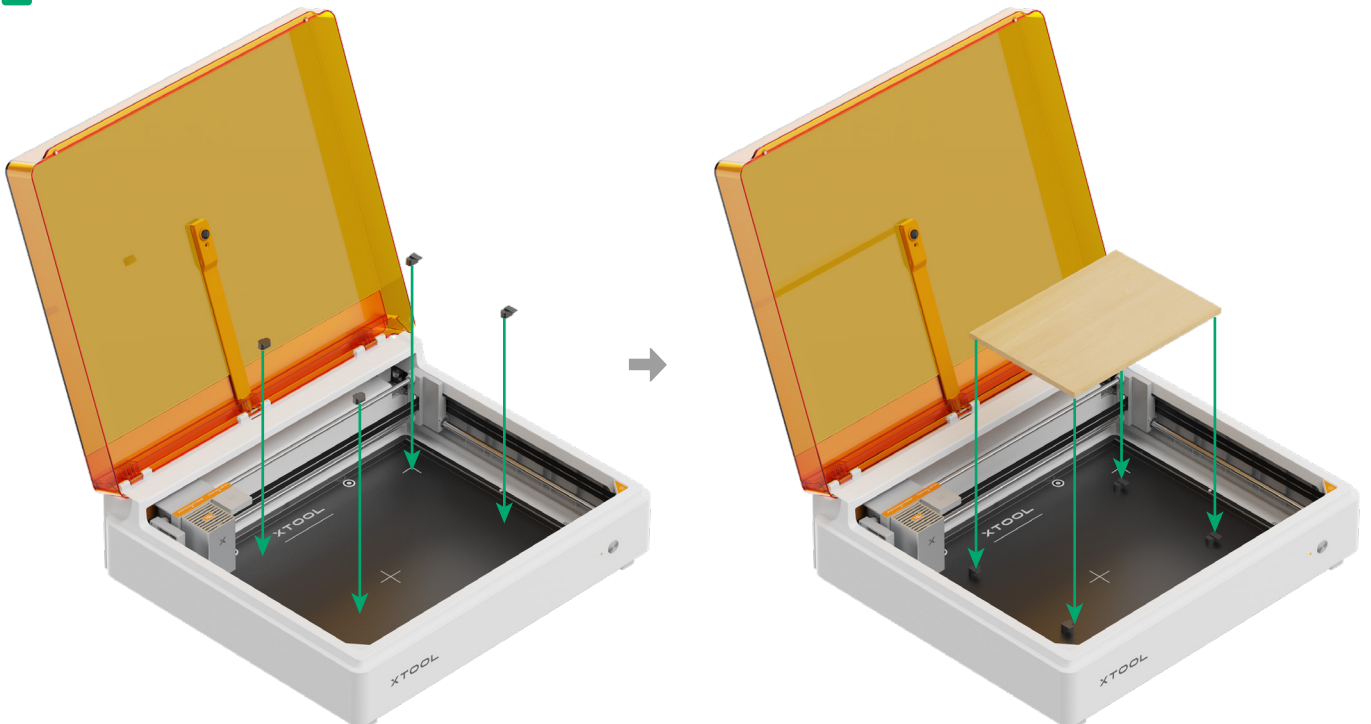


厚さ6 mm～16 mmの材料のレーザー切断:磁気固定具で固定する

1

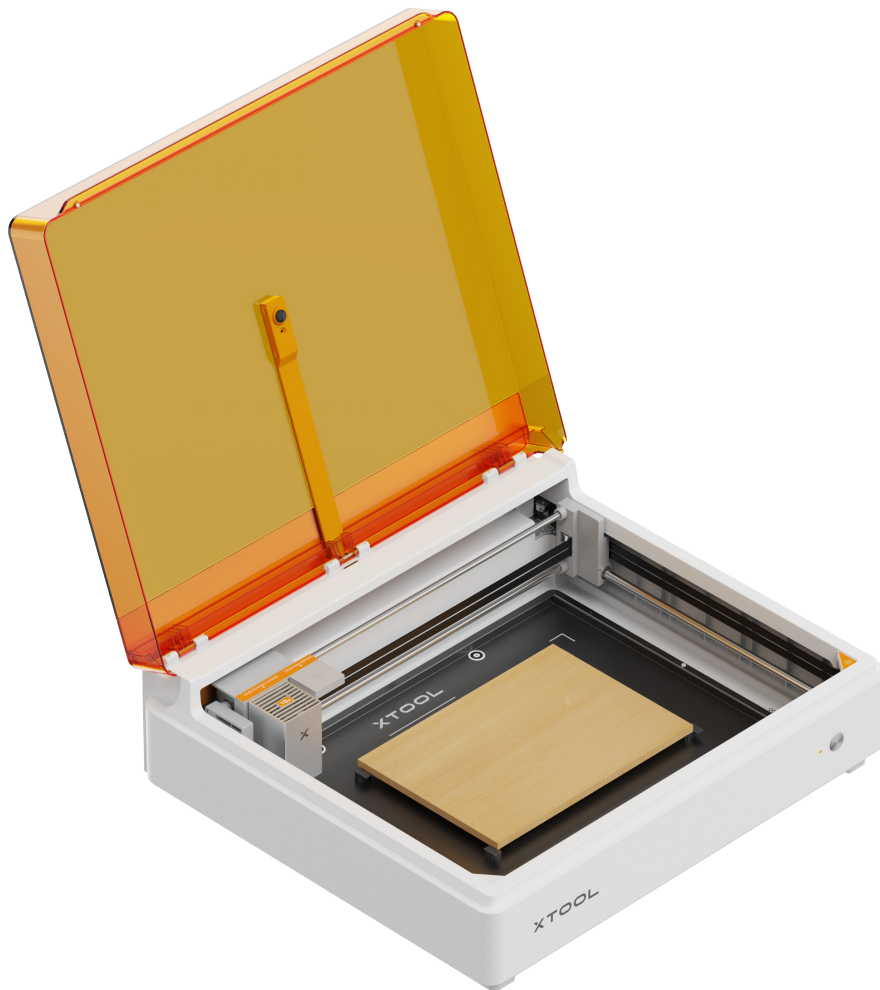


2





加工対象物を磁気治具の上面に置かないでください。



曲面素材へのレーザー彫刻

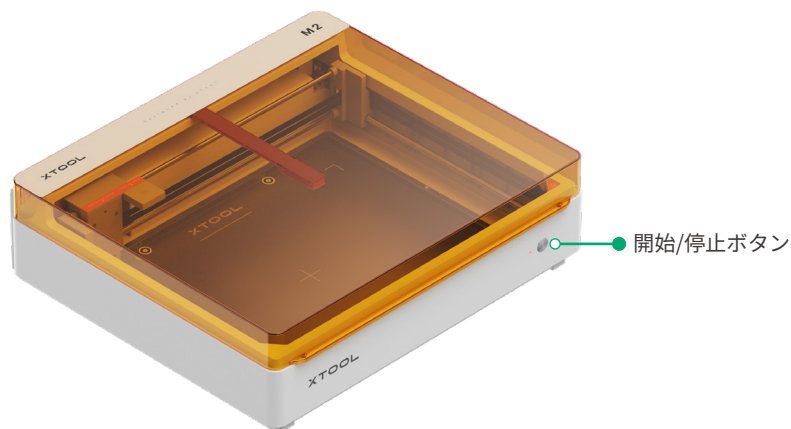
正確な距離測定を行うため、マスキングテープまたは特注の治具を使用して、材料をベースプレートに固定してください。

インジケータースタート/ストップボタンの理解

指標を理解する

ブザーの状態	インジケータースタート/ストップボタンの状態	デバイスの状態
/	白くゆっくり点滅している	初期化中
/	白い息	スリープモード
/	青く点滅する	ネットワークの設定
/	無地の青	しばらくお待ちください。デバイスがソフトウェアに接続されていません
/	黄色いランプがゆっくり点滅している	フレーミング
/	全面黄色	集中
/	全面黄色	自動化
/	緑色のライトがゆっくり点滅している	処理
/	一色の緑	処理が一時停止しました
/	濃い紫	ファームウェアの更新
/	紫色がゆっくりと点滅している	校正
一度鳴らす	/	蓋を閉める
一度鳴らす	純白	しばらくお待ちください。デバイスがソフトウェアに接続されました
一度鳴らす	一色の緑	準備完了
3回鳴らす	/	例外が発生しました
引き続き音を出し続ける	赤色ランプが素早く点滅している	二次炎および三次炎の異常が検出されました

「開始／停止」ボタンの操作について



デバイスの状態	ボタンを短く押したときの状態	ボタンの長押し時の状態	ボタンの2回押し時の状態
待機中	/	/	オフライン処理を実行する
待機中	/	ネットワーク設定を入力してください	オフライン処理を実行する
スリープモードにする	デバイスを起動すると、補助光が点灯します	デバイスを起動すると、補助光が点灯します	デバイスを起動すると、補助光が点灯します
ネットワークの設定	/	ネットワーク設定を終了する	/
自動化の導入	/	自動終了	/
枠組みを作り始める	/	出口フレーミング	/
処理の準備完了	処理を開始する	処理をキャンセルする	/
処理中...	処理が一時停止しました	処理をキャンセルする	/
処理が一時停止しました	処理を続行する	処理をキャンセルする	/
校正	/	キャリブレーションをキャンセル	/

メンテナンス

デバイスのメンテナンスを行う

1 ベースプレートを清掃してください

洗浄方法

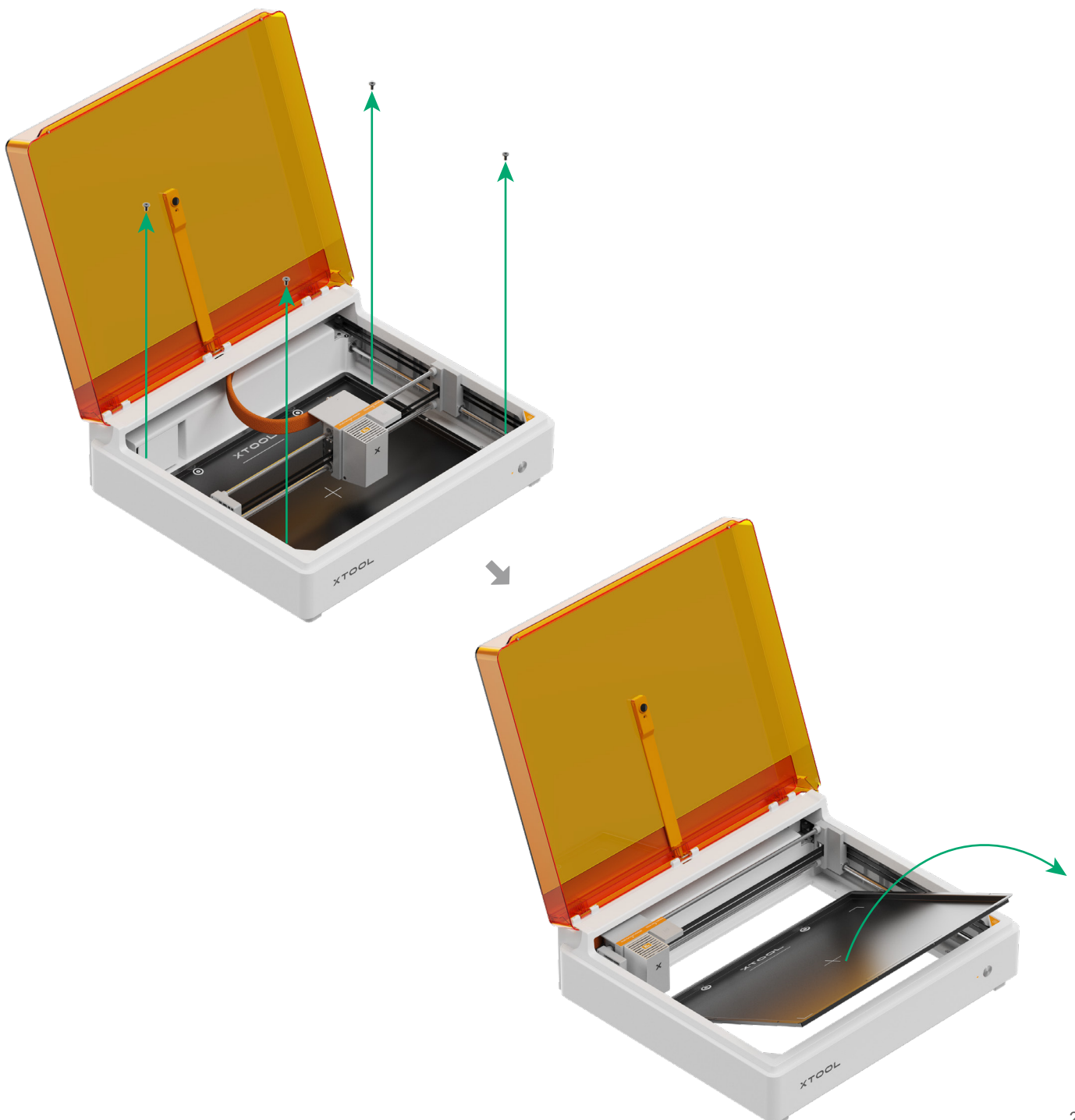


六角ドライバー



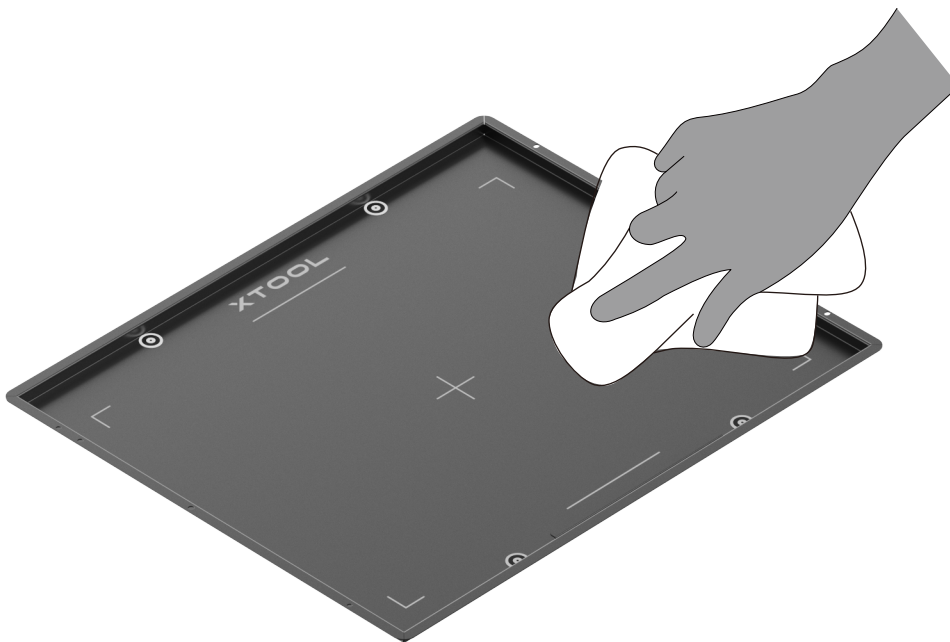
ファンにゴミが巻き込まれて排気が妨げられ、火災の原因となるのを防ぐため、定期的に機器内のゴミを取り除いてください。

(1) デバイスの電源を切り、ベースプレートを取り外してください。



(2) 雑巾に食器用洗剤を浸し、ベースプレートを拭きます。

(3) ベースプレートを乾いた布またはティッシュで拭いて乾かしてください。



2 換気扇を掃除する



換気扇を掃除すると、次のような効果が期待できます：

■ 冷却効率を維持する：排気ファンの清潔さは、その回転速度や冷却効果に影響を与えます。装置内にほこりや汚れがたまると、空気の流れが妨げられ、放熱効率が低下します。その結果、装置が過熱し、正常な動作に支障をきたすことになります。

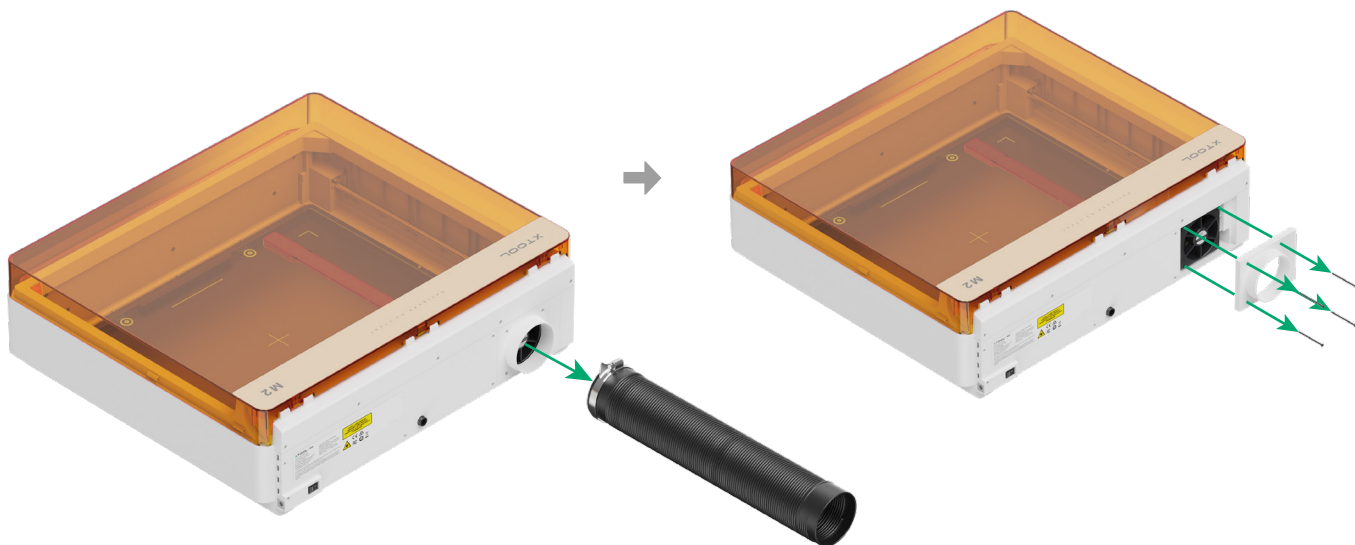
■ 寿命を延ばす：換気扇を清潔に保つことで、早期の摩耗や損傷を防ぐことができます。ほこりや汚れは回転の乱れを引き起こし、摩耗を加速させ、ファンの寿命を縮める原因となります。

お手入れの手順

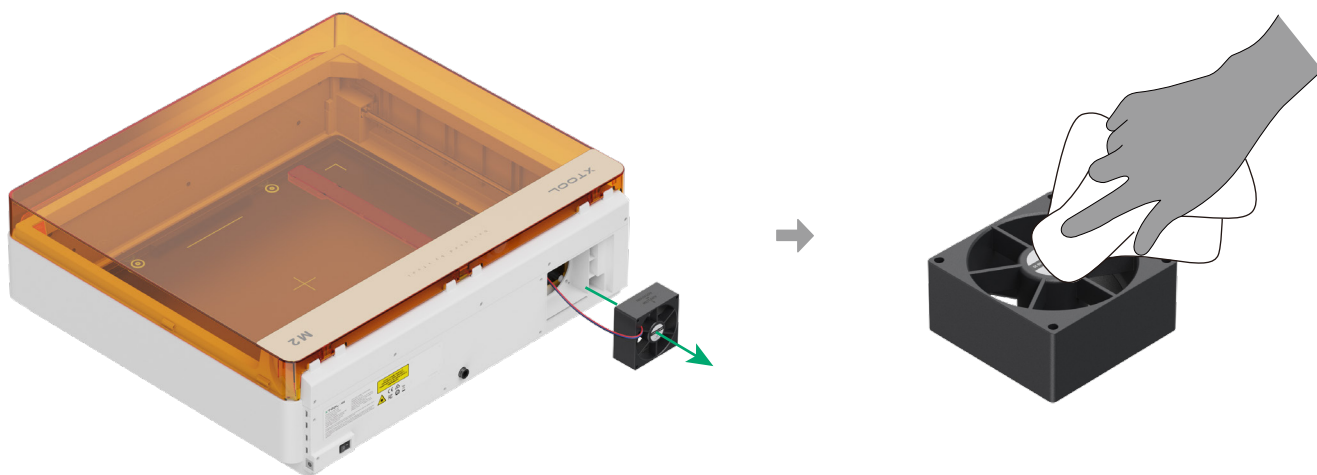
(1) 装置の電源を切り、排煙管とそのカバーを取り外してください。



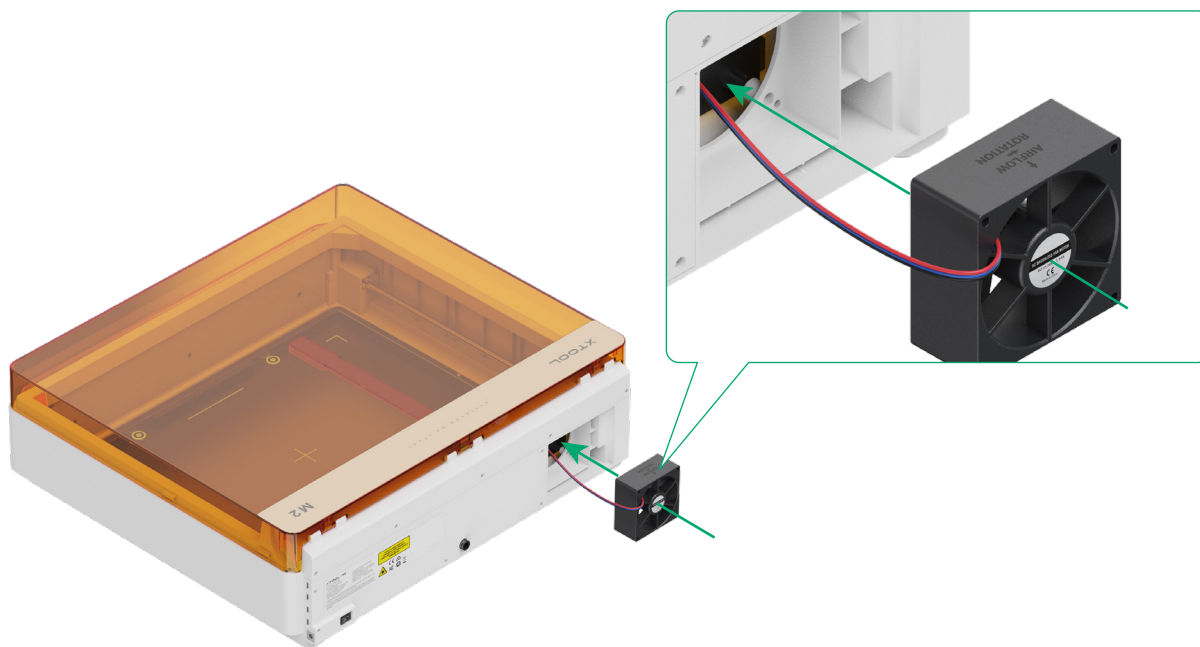
プラスドライバー
(同梱されていません)



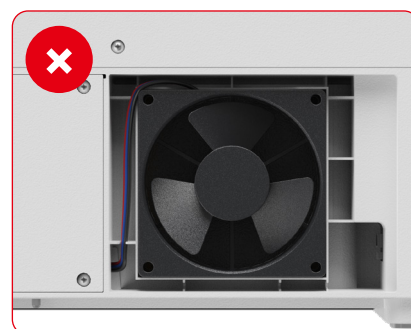
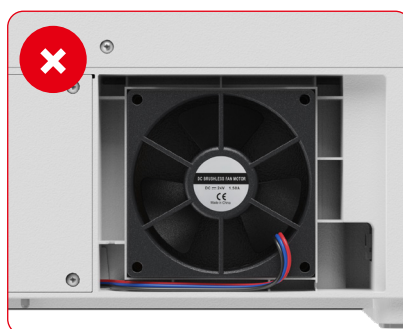
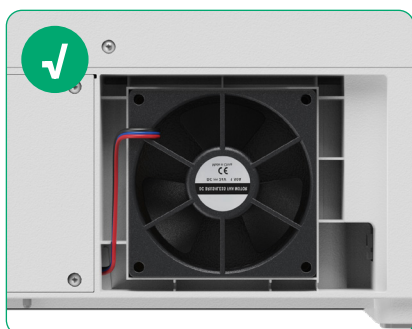
(2) きれいな水またはアルコールを含ませたティッシュや綿棒を使って、ファンを拭き取ってください。



(3) 排気ファンを、気流方向のマークに従って再取り付けし、気流が装置の外側へ向くようにしてください。

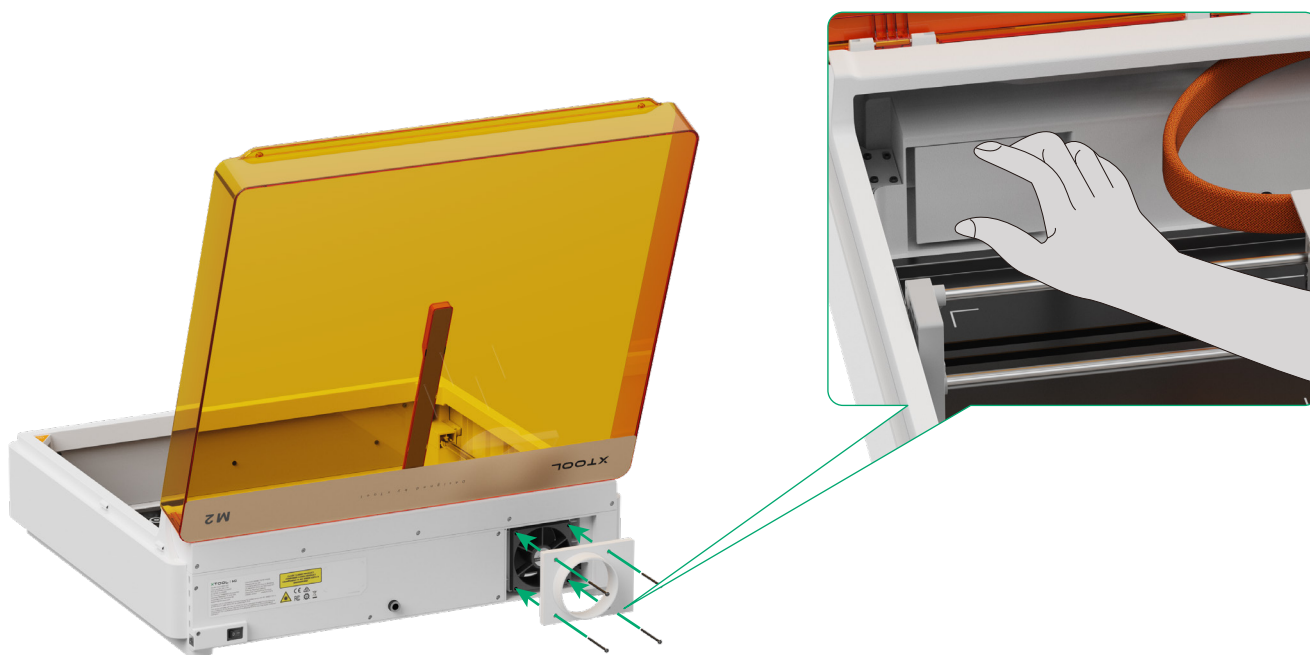


- 清掃の際は、必ずメイン制御基板からケーブルを取り外してください。
- 清掃後はケーブルをしっかりと接続し直し、ケーブルを強く引っ張りすぎないようにしてください。



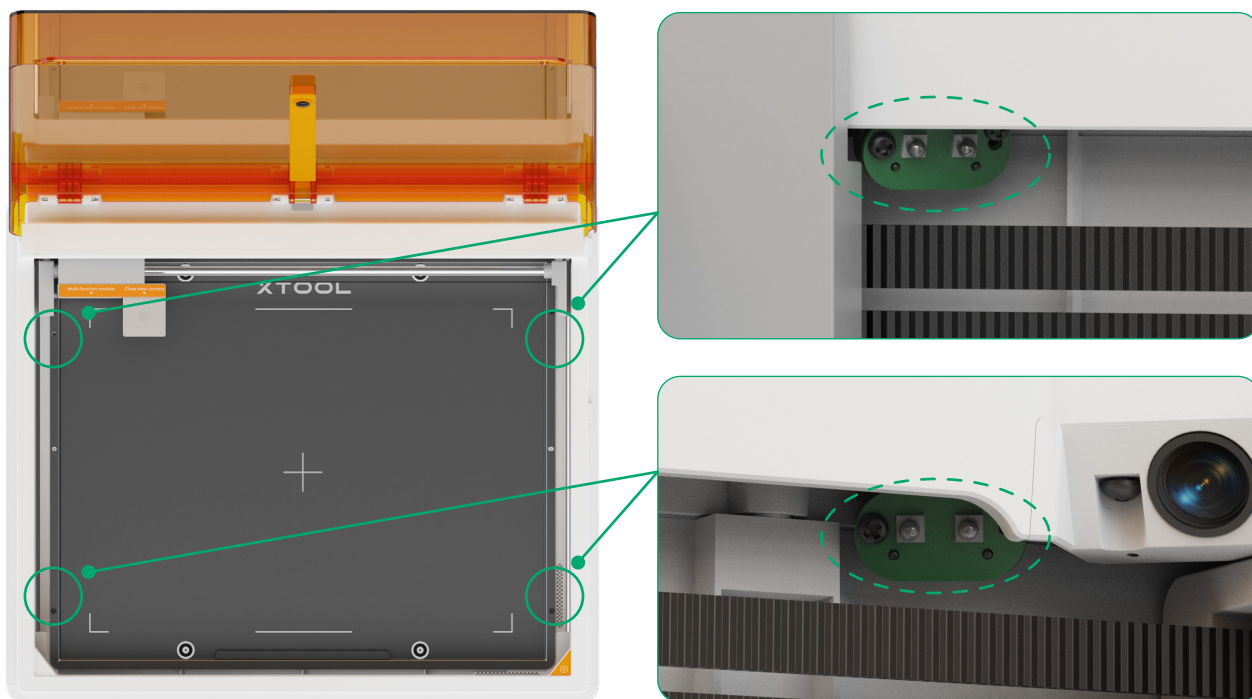
(4) 排煙管を装置に再び取り付けてください。そうしないと、レーザー光が漏れ出し、ファンに触れた際に手を負傷する恐れがあります。

排気管カバーを取り付ける際は、同時に手でカバーの内側を押さえておいてください。



3 フィルライトを掃除する

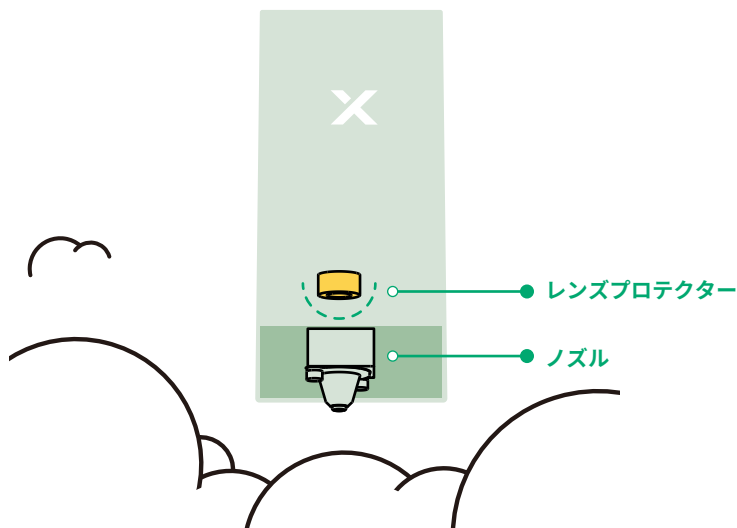
- 過熱や焼損を防ぐため、フィルライトのほこりを定期的に拭き取ってください。
- フィルライトを拭く際は、濡れすぎたタオルを使用しないでください。水分が内部に浸入し、電気回路のショートを引き起こす恐れがあります。



レーザーモジュールのメンテナンス

1 レンズプロテクターとノズルを清掃してください

レーザー加工では大量の煙が発生することが多く、これによりレンズプロテクターが汚れたり、ノズルが詰まったりする可能性があります。適時に清掃を行わないと、レーザー出力が低下したり、レーザーモジュールが損傷したりする恐れがあります。



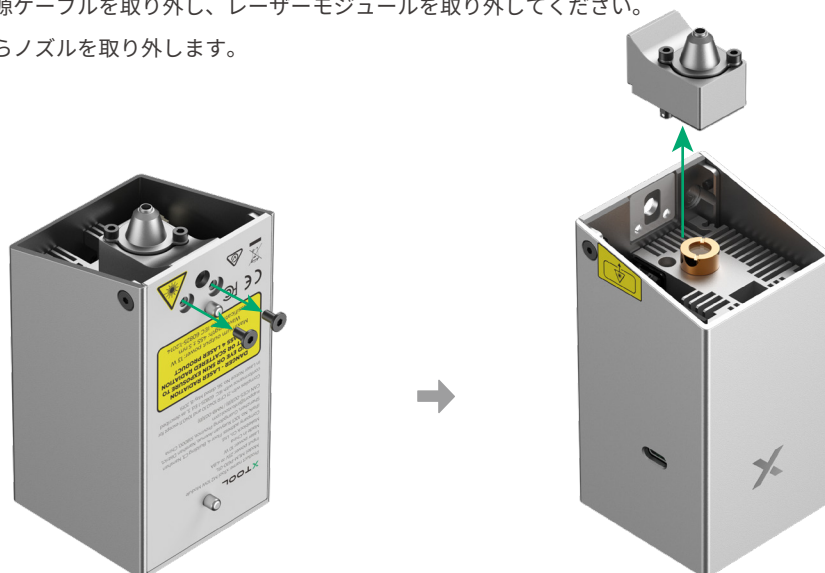
メンテナンス

- 傷をつけないようにしてください：レンズプロテクターの表面は傷つきやすいため、簡単に傷がついてしまう可能性があります。取り付け、交換、または清掃の際は細心の注意を払い、鋭利なものがプロテクターに触れないようにしてください。
- 使用環境：劣悪な環境条件は、レンズプロテクターの劣化や損傷を早める可能性があります。そのため、装置内部を乾燥した状態に保ち、ほこりや腐食性ガスが侵入しないようにするとともに、排気ファンが正常に作動していることを確認してください。
- 定期点検：レンズプロテクターがしっかりと取り付けられているかを定期的に確認してください。緩んだりずれたりしている場合は、速やかに調整して固定してください。
- 定期的な清掃：レンズプロテクターには、レーザーの透過率を低下させるほこりや汚れ、その他の不純物が蓄積することがあります。定期的に清掃してください。
- 定期的な交換：レンズプロテクターが著しく摩耗していると、レーザーの透過率が低下したり、機器の故障を引き起こしたりする恐れがあります。機器の使用状況やレンズプロテクターの摩耗具合に応じて、定期的に交換してください。

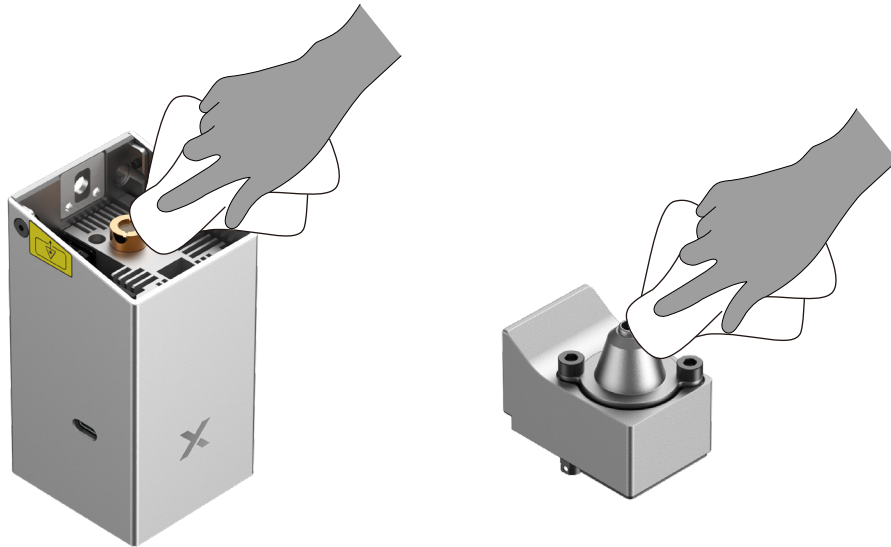
お手入れの手順

ソフトウェアからクリーニングの通知が表示されたら、手順に従ってレンズプロテクターとノズルを清掃してください。

- (1) 装置の電源を切り、電源ケーブルを取り外し、レーザーモジュールを取り外してください。
- (2) レーザーモジュールからノズルを取り外します。



(3) 糸くずの出ない布、またはアルコールを含ませた綿棒を使って、レンズプロテクターとノズルを順に拭き取ってください。



エアアシストを設定すれば、レーザーモジュールの清掃頻度を減らすことができます。

2 換気扇を掃除する

換気扇を掃除すると、次のような効果が期待できます：

■ 過熱を防ぎ、レーザーモジュールを保護します。加工中、レーザーモジュールは大量の熱を発生します。ファンは熱を放散し、レーザーモジュールの動作温度を安全な範囲内に維持する役割を果たします。ファンにほこりがたまりすぎたり、目詰まりしたりすると、放熱効率が低下し、過熱によってレーザーモジュールが損傷するおそれがあります。

■ 電気的な不具合や火災のリスクを防止します。ほこりの堆積は放熱を妨げるだけでなく、特に高温環境下では、電気的な故障や短絡のリスクを高めます。ファンを清掃することでほこりの堆積を抑え、潜在的なリスクを低減し、機器の安全な稼働を確保します。

お手入れの手順



■ 清掃の際は、必ずメイン制御基板からケーブルを取り外してください。濡れすぎたタオルは使用しないでください。水分が機器内部に浸入すると、電気回路のショートを引き起こし、レーザーのメイン制御基板を損傷するおそれがあります。

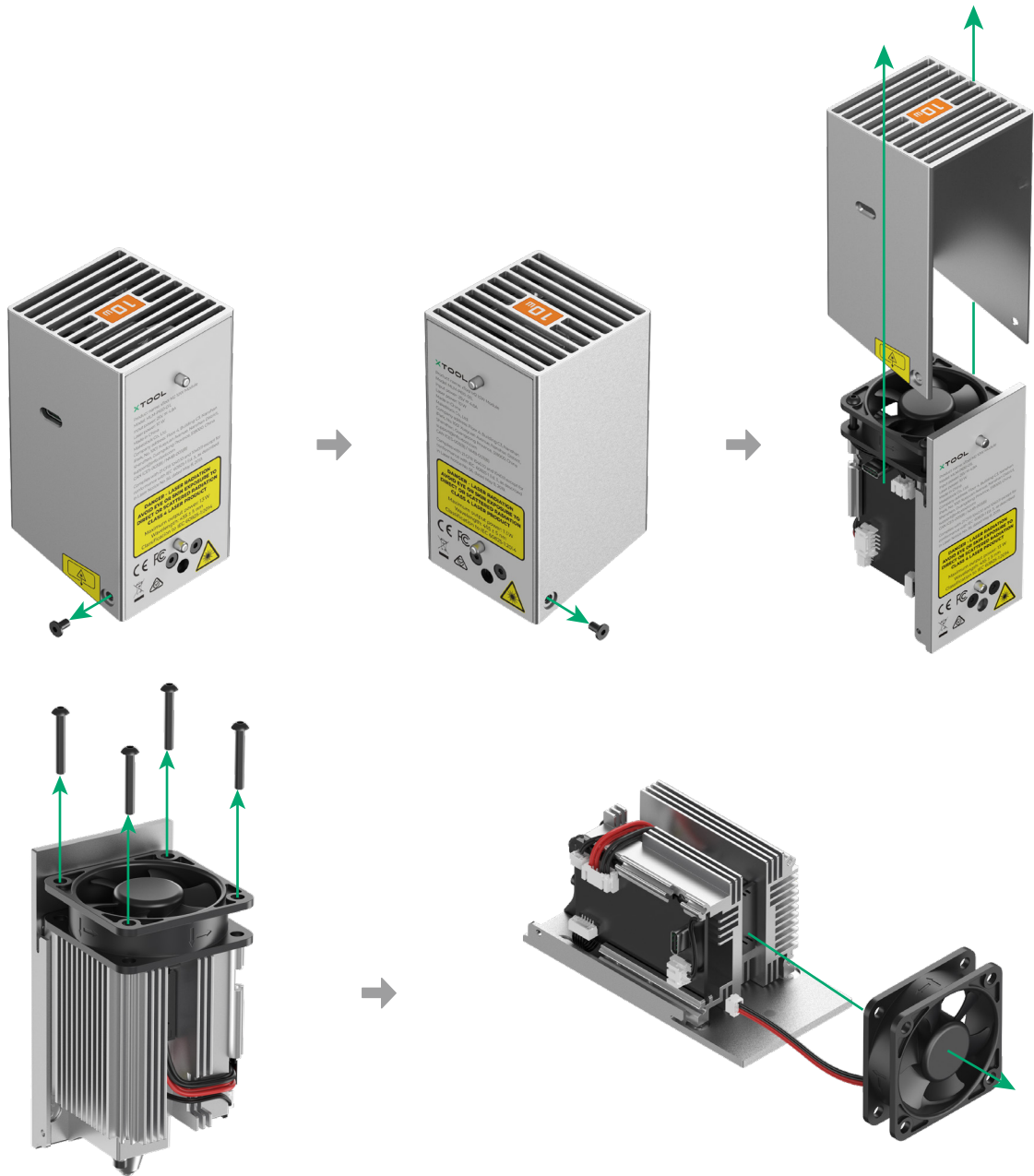
■ 清掃後はケーブルをしっかりと接続し直し、ケーブルを強く引っ張りすぎないようにしてください。



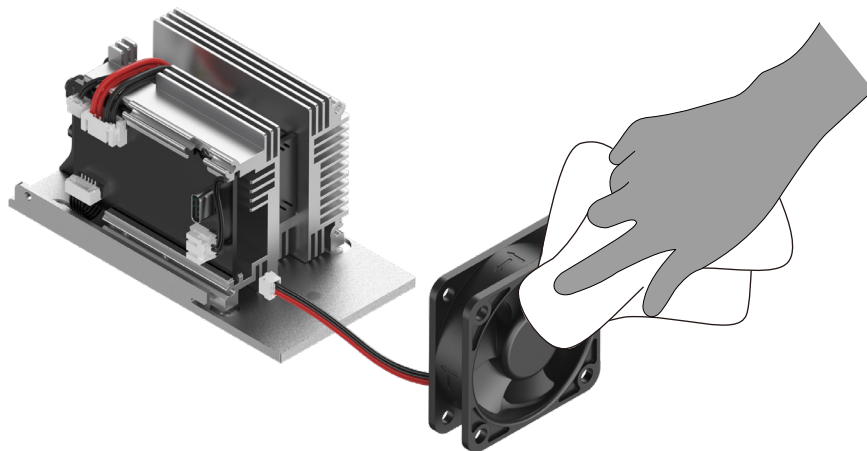
六角ドライバー

(1) 装置の電源を切り、電源ケーブルを取り外し、レーザーモジュールを取り外してください。

(2) レーザーモジュールから排気ファンを取り外します。



(3) 糸くずの出ない布、またはきれいな水やアルコールを含ませた綿棒を使って、ファンを拭いてください。



xTool M2のメンテナンスに関する詳細については、support.xtool.com/product/93 をご覧ください。

xTool M2 で xTool M2 CMYK インクジェットモジュールを使用する

こちらをクリックして、support.xtool.com/article/2817 にアクセスしてください

xTool M2 に xTool ロータリーアタッチメント 3 Lite を装着して使用してください

こちらをクリックして、support.xtool.com/article/2920 にアクセスしてください

*一部の言語版は人工知能（AI）によって翻訳されています。不正確な点や曖昧な点がありましたら、お早めにご連絡ください。確認の上、できるだけ早く内容を修正・改善いたします。

XTOOL